

令和5年度みえ森と緑の県民税基金事業（資料編）

目次

①	みえ森と緑の県民税基金積立金事業	1
②	災害に強い森林づくり推進事業	2
	ア. 災害緩衝林整備事業	
	イ. 土砂・流木緊急除去事業	
③	森林情報基盤整備事業	12
④	森を育む人づくりサポート体制整備事業	
	ア. みえ森林教育ビジョン推進事業	14
	イ. みえ森づくりサポートセンター運営事業	37
	ウ. みえ森林教育ステーション整備事業	52
⑤	生物多様性推進事業	57
⑥	森林とふれあう自然公園環境整備事業	60
⑦	みえ森と緑の県民税市町交付金事業	
	ア. みえ森と緑の県民税市町交付金（連携枠）事業	65
	a. 流域防災機能強化対策事業	
	b. 森林再生力強化対策事業	
	イ. みえ森と緑の県民税市町交付金（防災枠）事業	70
	a. 災害からライフラインを守る事前伐採事業	
	ウ. みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業	74
⑧	みえ森と緑の県民税制度運営事業	83

① 令和5年度みえ森と緑の県民税基金事業の構成

① みえ森と緑の県民税基金積立金事業 1,137,761 千円



災害に強い森林づくり推進事業

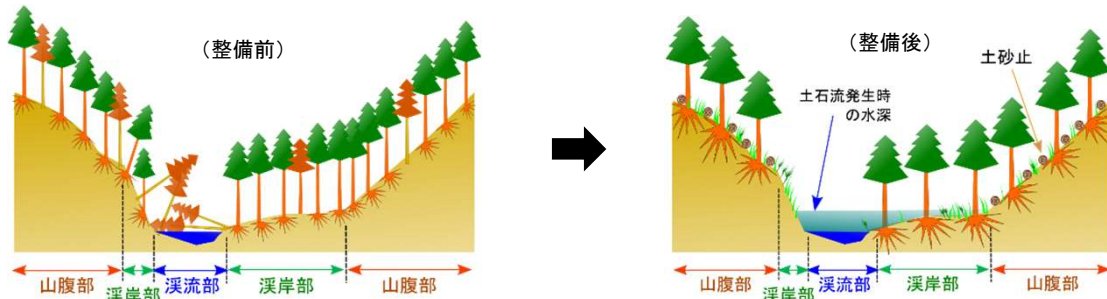
近年頻発する豪雨等の異常気象の増加をふまえ、流木や土砂の流出による災害発生の恐れのある溪流沿いの森林を対象に、三重県が流木災害等を軽減するため、「みえ森と緑の県民税」を活用して「災害緩衝林整備事業」と「土砂・流木緊急除去事業」の二つの事業を行っています。

災害緩衝林整備事業

溪流内の危険木の除去や、流木や土砂の流下を緩衝する溪流沿いの森林整備、倒木や土砂の溪流への流入を抑制する山腹斜面での森林整備など、災害緩衝林の整備を進めます。

【災害緩衝林整備事業のイメージ図】

整備区域を「**溪流部**・**溪岸部**・**山腹部**」の3つエリアに分けて整備しています。



令和4年度は、12市町の32箇所において事業を実施しました。

【伊賀市(折戸)】

(溪流部・溪岸部の整備前)



(溪流部・溪岸部の整備後)



【松阪市(大足山)】

(山腹部の整備前)



(山腹部の整備後)



溪流部・・・流木となる恐れのある危険木を下流へ流れ出なくするために倒木・流木等の危険木の伐採・搬出を行います。

溪岸部・・・立木の太径化を促す調整伐や、伐採木の撤去を行い、上流からの土砂・流木等の流下を緩和軽減させます。

山腹部・・・溪流内に倒木や土砂が流れ出なくするために立木の根系の発達を促す調整伐と土砂止の設置を行います。

※調整伐とは、立ち木の密度を緩和し、成長を促進するための抜き伐りのことです。

土砂・流木緊急除去事業

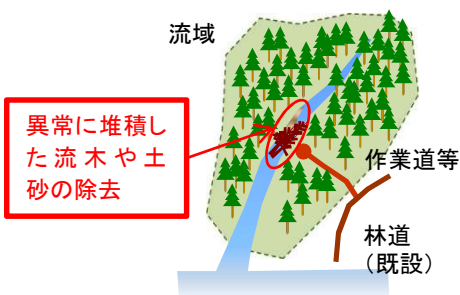
溪流内に異常に堆積した流木や土砂等について、台風や豪雨の際に流れ出して下流に被害を与える恐れのあるものを撤去します。

【土砂・流木緊急除去事業のイメージ図】

【紀北町(中熊)】

(施工前)

(施工後)



災害緩衝林整備事業

近年頻発する豪雨等の異常気象の増加をふまえ、流木や土砂の流出による災害発生の恐れのある溪流沿いの森林を対象に、流木災害等を軽減するため、①溪流内の危険木の除去、②流木や土砂の流下を緩衝する溪流沿いの森林整備、③倒木や土砂の溪流への流入を抑制する山腹斜面での森林整備など、災害緩衝林の整備を進めます。

〈整備前の森林の状態〉

流出する恐れのある危険木が存在

間伐不足で過密小径な林分

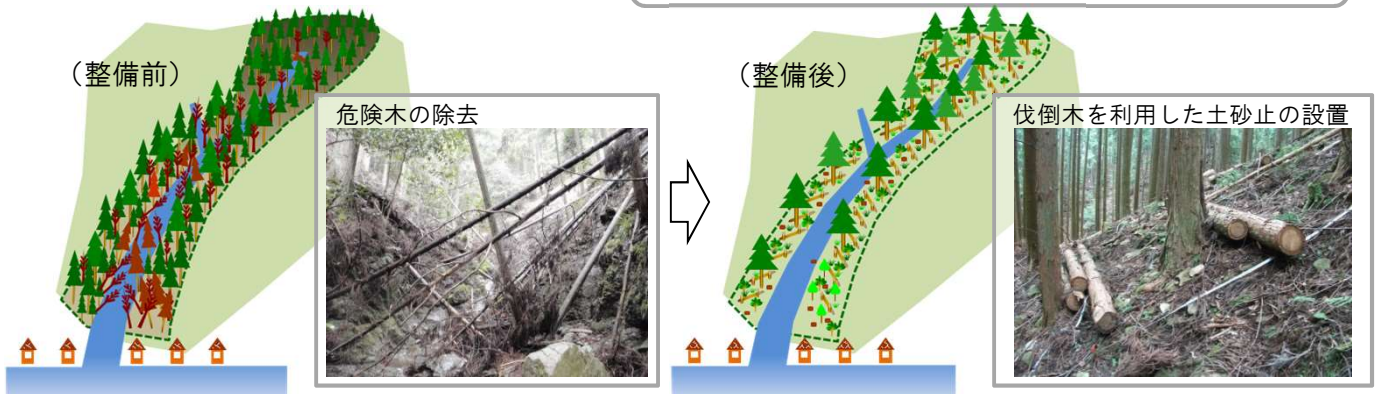
下層植生がみられず表土が流出

〈整備区域〉 青字：立地環境 赤字：整備内容

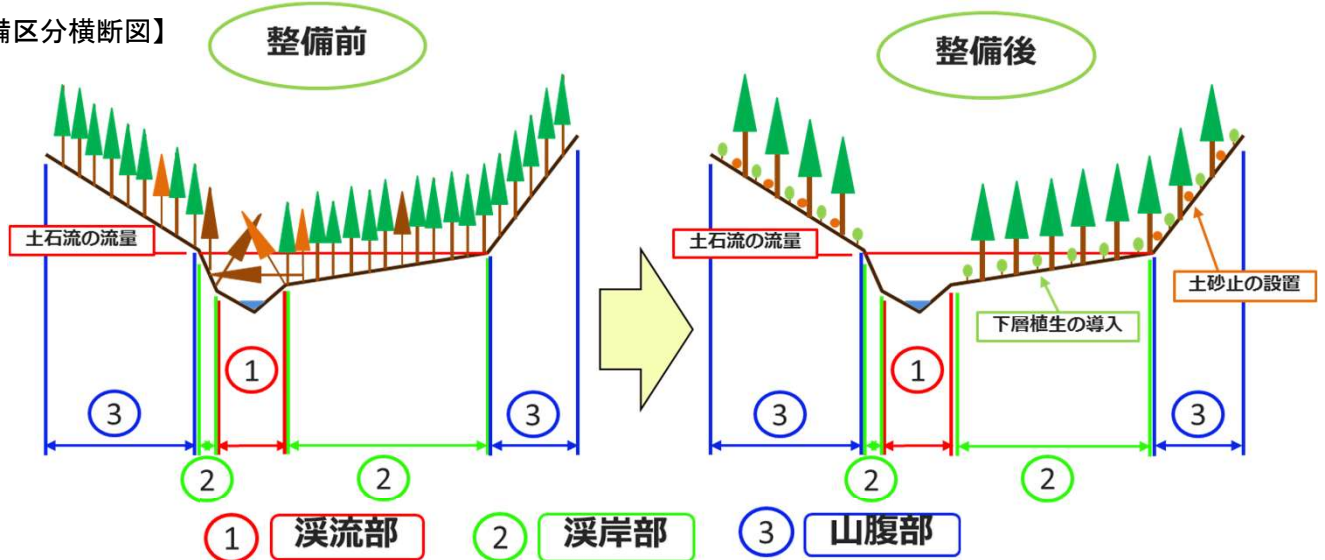
①溪流部で危険木の除去⇒流木発生抑制

②溪岸部で調整伐による立木の大径化促進⇒森林の抵抗力の増加⇒流木・土砂等流下緩衝

③山腹部で調整伐による根系の発達促進、土砂止の設置⇒斜面の安定化⇒流木・土砂等流出抑制



【整備区分横断面図】



(整備後)



土砂・流木緊急除去事業

近年頻発する豪雨等の異常気象の増加をふまえ、流木や土砂の流出による災害発生の恐れのある溪流沿いの森林を対象に、溪流内に異常に堆積した土砂や流木について、台風や豪雨の際に流出して下流に被害を与える恐れのあるものを撤去します。



溪流内に異常に堆積した土砂・流木



撤去後(紀北町)

令和5年度 災害に強い森林づくり推進事業 実施予定箇所

災害緩衝林整備事業

令和5年12月末現在

番号	箇所番号	実施箇所			危険地区番号	危険木除去 (m)	緩衝林整備 (ha)	実施予定額 (千円)	備考 (進捗状況)
		市町	大字等	字					
1	四-1	亀山市	関町市瀬	野々谷		250	6.42	8,410	施工中
2	四-2	亀山市	加太板屋	西谷		660	8.36	13,830	施工中
3	四-3	亀山市		南河内		360	4.39	7,130	施工中
4	四-4	亀山市	加太板屋	焼揚		750	9.15	6,500	施工中
5	四-5	亀山市	沓掛	安間平		350	2.82	3,230	施工中
6	津-1	津市	榑原町	河内谷ほか	201-2005	120	1.83	6,970	施工中
7	津-2	津市	芸濃町河内	黒曾ほか		190	4.02	7,280	完了
8	津-3	津市	白山町佐田	赤坂ほか		430	2.83	7,881	完了
9	松-1	松阪市	大足町	大足山		400	5.35	15,400	施工中
10	松-2	松阪市	嬉野小原町	古城		168	1.22	9,200	完了
11	松-3	松阪市	阿坂町	大谷	204-0044	150	1.13	5,800	施工中
12	松-4	松阪市	茅原町	下ノ宮		200	1.28	12,100	施工中
13	松-5	松阪市	小片野町	北谷西平		265	2.86	6,300	施工中
14	松-6	多気町	土屋	クリノキダニ		600	4.86	21,900	施工中
15	松-7	多気町	車川	チョウラグチ		525	3.50	16,300	施工中
16	松-8	大台町	長ヶ	鈴又		387	0.80	22,900	完了
17	伊-1	度会町	田口	樋ノ谷 (田口)		310	3.26	8,000	完了
18	伊-2	大紀町	永会	出作		933	9.08	16,000	完了
19	伊-3	大紀町	神原	中谷		167	2.75	6,500	完了
20	伊-5	南伊勢町	内瀬	豆原		0	8.50	14,500	施工中
21	上-1	伊賀市	上阿波	船ヶ谷		290	4.02	5,500	施工中
22	上-2	伊賀市	下阿波	宮谷		570	8.88	15,000	施工中
23	上-4	伊賀市	諸木	滝谷1		500	4.52	10,000	施工中
24	上-6	伊賀市	高尾	津元		270	5.88	10,000	施工中
25	尾-1	尾鷲市	九鬼町	奥地	209-0062	920	2.93	8,400	施工中
26	尾-2	紀北町	十須	江竜	543-1100	510	2.45	13,700	施工中
27	尾-3	紀北町	十須	林の谷	543-1109	770	4.57	11,400	施工中
28	熊-1	熊野市	五郷町	ボウノ	212-1054	350	6.03	8,900	施工中

土砂・流木緊急除去事業

令和5年12月末現在

番号	箇所番号	実施箇所			危険地区番号	土砂体積 (m ³)	流木体積 (m ⁴)	実施予定額 (千円)	備考 (進捗状況)
		市町	大字等	字					
1	四-1	菰野町	千草	猿ヶ原		50	50	3,100	施工中
2	尾-1	紀北町	船津	権戸			154	800	施工中

県庁舎及び市町庁舎等の PRパネル展示状況

伊勢庁舎



各事業のPR状況

工事施工箇所に「のぼり」やPR標柱を設置



工事施工前、施工後に近隣住民等へ周知

工事のお知らせ みえ **森と緑** の県民税

森林づくりを県民みんなの力で！

平素は、三重県行政にご理解、ご協力を賜りお礼申し上げます。
この度は、下記の箇所において、災害緩衝林整備事業を実施することとなりました。
工事中は、ご迷惑をおかけしますが、何卒ご理解とご協力のほどよろしくお願いいたします。

工事名：令和5年度災害緩衝林整備事業第四-1号工事ほか
(野々谷・安間平)

工事期間：令和5年6月26日(月)～令和5年12月4日(月)

工事内容：危険木除去、森林整備

施工場所：亀山市関町市瀬字野々谷ほか(別添位置図・平面図)

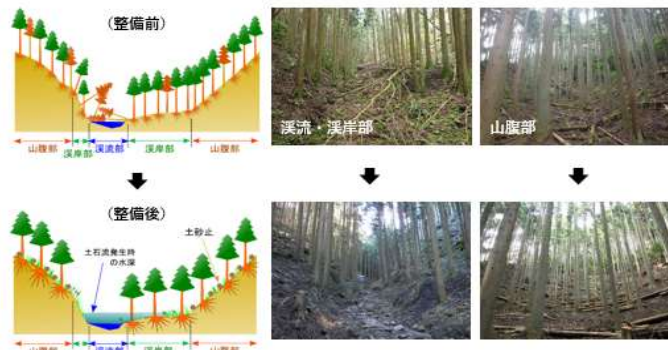


【災害緩衝林整備事業】

近年頻発する豪雨等の異常気象の増加をふまえ、流木や土砂の流出による災害発生のある溪流沿いの森林を対象に、「みえ森と緑の県民税」を活用して「災害緩衝林整備事業」を行っています。

危険木の除去や、森林整備などを進め、流木災害等を軽減します。

【施業のイメージ】



【工事に関するお問い合わせ先】
発注者：三重県四日市農林事務所 森林・林業室
森林保全課

TEL：059-352-0652

受注者：鈴鹿森林組合

TEL：0595-98-0010



事業目的と検証事項

- 山腹部・・・調整伐による立木の成長の促進、
斜面安定効果及び土砂流亡抑制効果発揮に対して

効果検証が必要な事項

- ・斜面安定効果、土砂流亡抑制効果は発揮できるか？項目1
- ・立木の成長は促進されるか？項目2

- 溪岸部・・・調整伐による立木の成長の促進※に対して

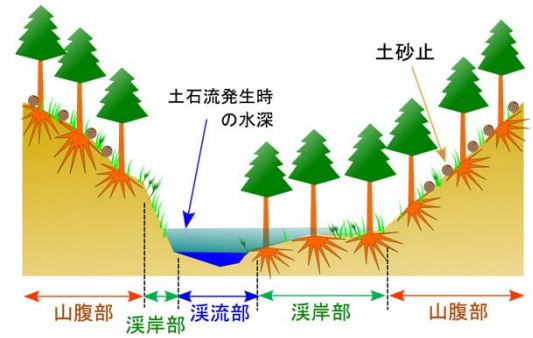
効果検証が必要な事項

- ・立木の成長は促進されるか？項目2

- 溪流部・・・危険木除去による流木発生抑制効果に対して

効果検証が必要な事項

- ・流木発生抑制効果は持続しているか？項目3



※本事業では胸高直径30cm以上の森林に誘導することを目標としている

効果検証にかかる調査・研究

項目1 樹木根系による斜面安定効果調査

根系発達による斜面安定効果を検証するために

① 根系分布調査、根引き抜き試験により、表層崩壊防止力を把握

② 土砂流亡量調査で、土砂流亡抑制効果の持続期間を把握(三重大学共同研究)



調整伐と伐倒木を利用した土砂止の設置



根引き抜き試験



根系分布調査



土砂流亡量調査

項目2 UAV(ドローン)を用いた森林モニタリング調査

成長促進効果を検証するために

UAV空撮画像の解析により事業実施箇所の森林状況の変化を把握(名古屋大学共同研究)



UAV(ドローン)



調整伐実施後の状態変化を調査



項目3 整備森林における危険木発生状況調査

危険木除去による流木発生抑制効果を検証するために

危険木を除去した溪流での流木等危険木発生状況を把握(一部、三重大学共同研究)



整備前



危険木除去



整備後

現状？

令和5年度の実施内容と今後の予定

アドバイザーボードでの専門家の意見等をふまえたデータ解析や成果のとりまとめ、固定試験地での追跡調査を実施した。年度内に成果をとりまとめたパンフレットを作成・印刷し、広く配布する予定である。

目的:

- ①根系による表層崩壊防止力の把握・・・山腹部における調整伐実施が斜面安定(根系による表層崩壊防止力)に及ぼす効果を明らかにする。
- ②土砂流亡量の継続調査・・・調整伐実施, 土砂止設置による土砂流亡抑制効果の持続期間を明らかにする。

方法:

- ①調整伐後6~11年経過したスギ林5カ所, 同6~8年経過したヒノキ林5カ所において, それぞれ調整伐実施地と未実施地の立木間中央部(崩壊防止力の最弱部)各3カ所で根系分布調査を行った。得られたデータに対し, 根引き抜き試験から得た崩壊防止力推定モデルを適用して崩壊防止力を推定し, 調整伐実施地と未実施地との比較検証を行った。
- ②平成27~29年度に土砂流亡量観測を行った3カ所の試験地で観測を継続した(三重大学共同研究)。

結果:

- ①調整伐実施地では, 調整伐直後は伐採木の根系腐朽により, 立木間中央部の崩壊防止力は一時的に低下すると推測されるが, 調整伐の効果により, 未実施地と比較して立木間距離が長いにも関わらず, 6~11年後には崩壊防止力が同程度まで大きくなった(図-1)。全調査地の根系分布データから, 立木間距離と崩壊防止力の関係を解析したところ, 同じ立木間距離では実施地の方が未実施地よりも崩壊防止力が大きかった(図-2)。これらの結果より, 実施地の根系による崩壊防止力は, 斜面全体では未実施地よりも大きくなっていると考えられた。
- ②調整伐後の林床被覆率上昇に伴って土砂流亡量は減少し, 調整伐後8年経過時点でも低い水準で保たれていた(図-3)。林床被覆率が高い状態が保たれていることから, 今後も土砂流亡抑制効果は持続することが推察された。

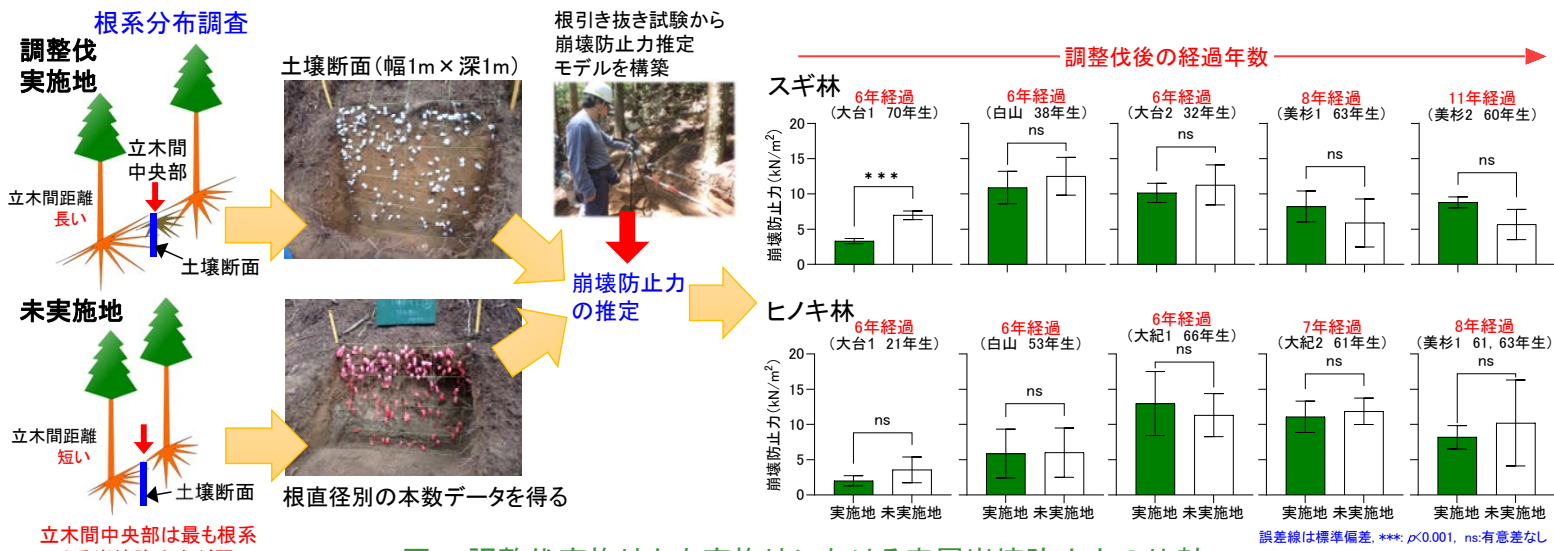


図1. 調整伐実施地と未実施地における表層崩壊防止力の比較

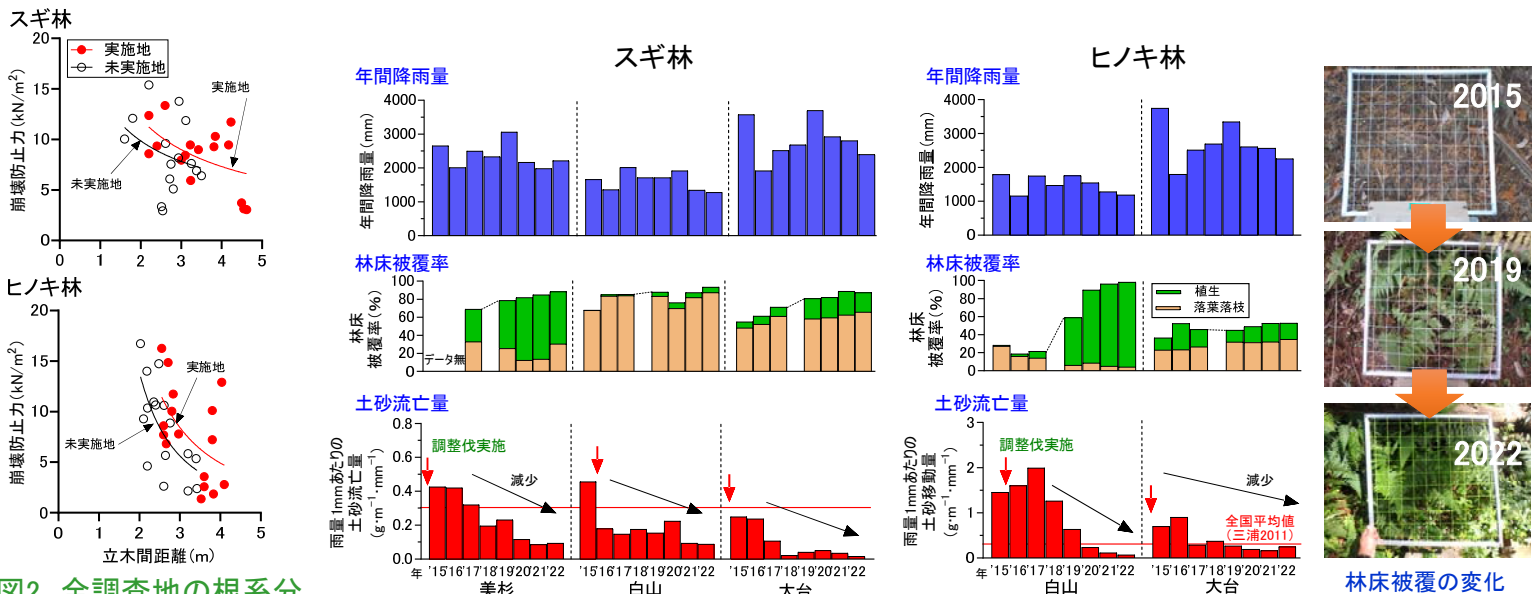


図2. 全調査地の根系分布データによる立木間距離と崩壊防止力の関係

図3. 調整伐後の林床被覆率と土砂流亡量の経年変化

- ①調整伐後6~11年で根系による崩壊防止力は斜面全体では未実施地よりも大きい
- ②調整伐と土砂止による土砂流亡抑制効果は調整伐後8年時点まで持続していた

目的:

UAVにより山腹部、溪岸部での調整伐による立木の肥大成長促進や健全性向上の効果を広域的に検証する。

方法:

平成26年度から調整伐前後の森林状態の変化を広域的にモニタリングしているが、これまでの航空レーザ測量に代わりUAV(ドローン)を使用することで、面積は限定されるものの低コストで即時的に森林情報を得られる可能性がある。平成26年度設定モニタリング区域内(大台町)において設定した3カ所の空撮区域、令和元年度事業実施地において設定した3カ所の空撮区域でUAVによる空撮を行った。大学との共同研究により UAV空撮データから高精度で森林情報を取得するための技術を開発し(図4)、取得した空撮データを解析することで(図5)、調整伐後の森林状態の変化を広域的に把握した(名古屋大学共同研究)。

結果:

調整伐を行うことによる直径成長の促進効果(図6)、森林資源の現況や現時点での目標直径到達状況などを広域的に確認できた(図7)。

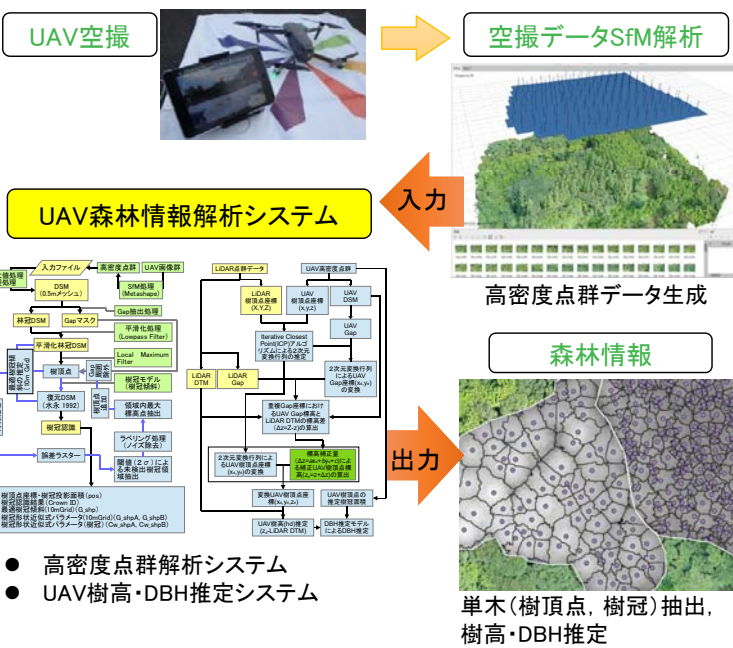


図4. UAV空撮画像からの森林情報解析技術

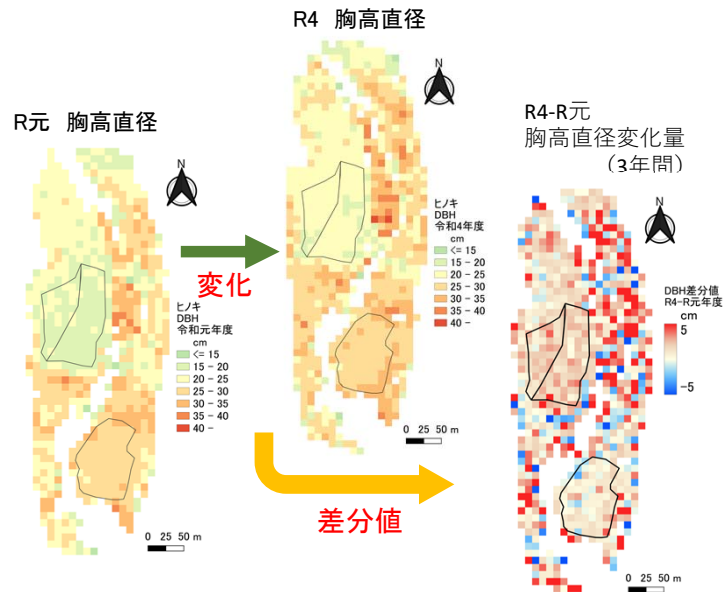


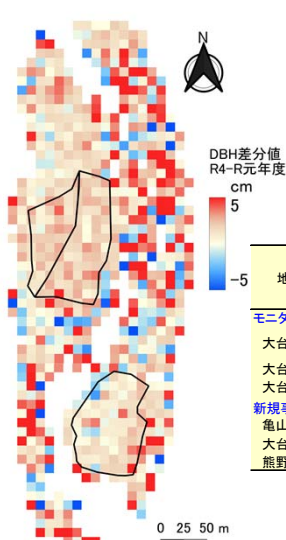
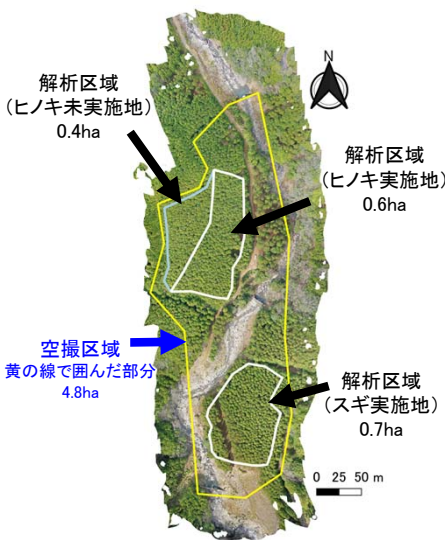
図5. 森林状態の変化量把握(胸高直径の例)

単木単位データを10m×10mメッシュ単位でマップ化し、2期間の変化量をGISで計算

● 作成したオルソフォト

● モニタリングの例 (胸高直径の3年間の変化)

● モニタリングの例 (胸高直径の現況)



R4-R元年変化量平均値

地区	事業実施年度	樹種	空撮区域面積 ha	胸高直径成長量 cm	
				実施地	未実施地
モニタリング区域					
大台1-1	H26	ヒノキ	4.8	1.95	1.89
大台1-2	H26	スギ	5.4	1.32	-
大台1-3	H26	スギ	5.9	1.30	1.27
新規事業地					
亀山	R元	スギ・ヒノキ	4.6	1.10	0.96
大台2	H30-R元	スギ・ヒノキ	3.9	0.39	-
熊野	R元	ヒノキ	3.6	1.57	1.30

いずれの区域でも、調整伐実施地は未実施地より、わずかに成長量が大い傾向がみられた

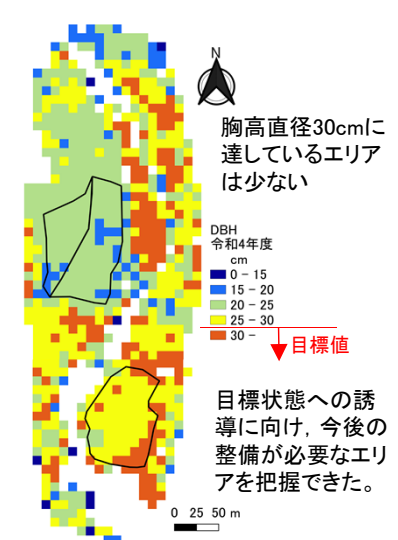


図6. 令和元年(調整伐後5年)から令和4年(同8年)の胸高直径の変化量(大台1-1地区)

図7. 胸高直径の現況(令和4年, 大台1-1地区)

項目3 整備森林における危険木発生状況調査 (R1~5) 資料4

目的:

溪流部で実施している危険木(倒流木)除去による流木発生抑制効果を検証する。

方法:

平成26年度, 27年度事業により溪流部の危険木除去を行った67箇所の整備溪流(延長55~2,015 m, 平均延長548 m, 総延長36,700 m)を除去から3~6年後に踏査し, 倒流木発生の実況を多点調査した(図8)。また, 整備溪流4カ所(延長283~673m), 未整備溪流2カ所(延長368, 745m)に固定試験地を設定し(図12), 毎年, 冬季の湯水期に危険木の発生, 消失, 移動状況を追跡調査した(一部, 三重大学共同研究)。

結果:

平成26, 27年度事業地の多点調査の結果, 再発生した倒流木の材積は除去材積と比較してわずかであり, 平成29年21号台風による風倒被害を受けた一部を除き, 除去効果は維持されていた(図9)。固定試験地における追跡調査でも, 調査を行った4年間に倒流木量はほとんど変化しなかった(図12)。そのため, 著しい台風被害などを受けなければ, 長期間にわたって除去効果は維持されると考えられた。

倒木の発生要因は, 風倒に起因する根返りや幹折れ, 溪岸侵食が主要因であり, これらの発生を森林管理によって防ぐことで大幅に倒流木を少なくできる可能性がある(図10)。

また, 流木は倒木と比べて腐朽度が高く, 長さが流路幅よりも短いことから(図11), 流路幅の狭い溪流内では倒木が分解, 破断して流木化するまで, これらが長期間滞留する危険性がある。そのため, 流木被害対策として溪流部の倒流木等を除去することは有効な手段であることがわかった。

「倒木」・・・山腹から溪流に入って, その場所から一度も流下していないもの
 「流木」・・・溪流に入ったのちに流下した履歴があるもの

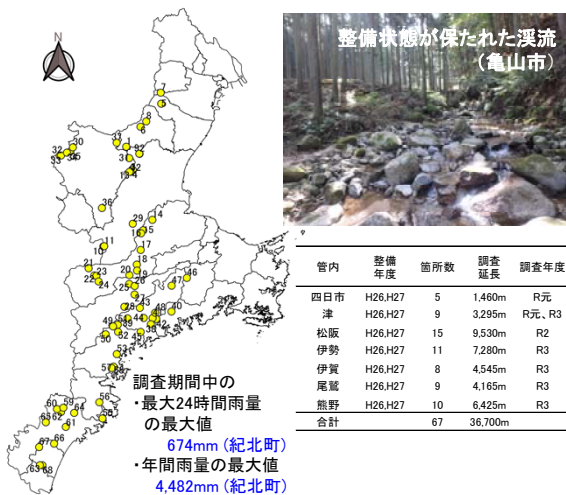


図8. 多点調査を行った事業地の位置

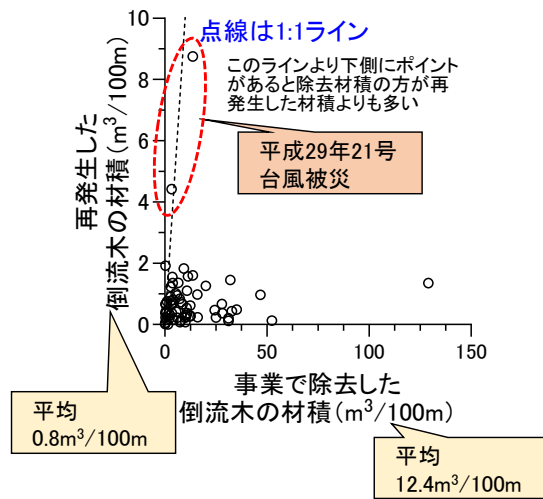


図9. 各事業地の倒流木除去材積と現状材積の関係(67カ所)

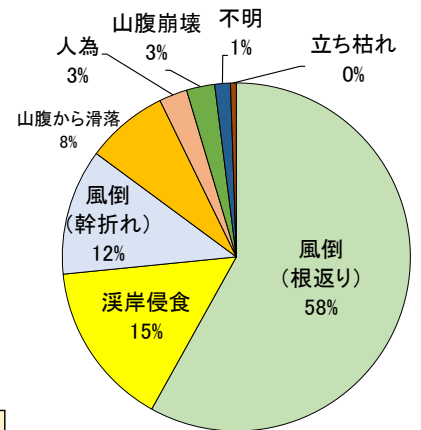


図10. 67カ所の事業地における全倒木(202.8m³)の発生要因毎の材積割合

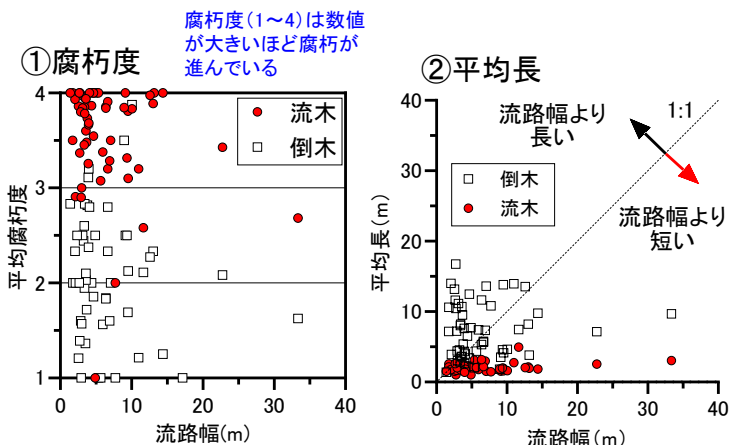


図11. 各事業地の整備区間中央部付近における最大24時間雨量時の流路幅と倒流木の腐朽度, 平均長の関係

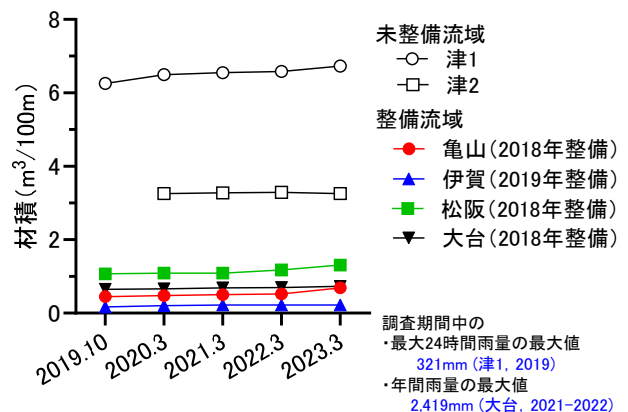


図12. 固定試験地における倒流木材積の経年変化

著しい台風被害などを受けなければ長期間にわたって除去効果は維持された

③：森林情報基盤整備事業

担当課：森林・林業経営課

基本方針：① 災害に強い森林づくり

対策区分：① 土砂や流木による被害を出さない森林づくり

1 事業の目的

航空レーザ測量を実施して、詳細な森林資源情報を把握することで、効率的な森林管理を促進するとともに、精度の高い3次元地形データを取得して、災害発生の危険性の高い地域等を客観的に把握することで、災害に強い森林づくりを効果的に進めます。

また、航空レーザ測量によって把握できる尾根、谷等の詳細な地形や林相界等の情報を森林クラウドにより市町と共有することで、市町による森林の適正な管理の実行につなげます。

2 事業の必要性

緊急に整備が必要な森林や、山地災害や流木被害の発生の恐れのある森林を効率的に把握し、災害に強い森林づくりを着実に進めるためには、航空レーザ測量を実施して、樹種、樹高、立木密度、材積等の詳細な森林資源情報や、尾根、谷等の精度の高い微細な地形情報等を効果的に取得する必要があります。

また、所有者の関心の低い森林や、境界が不明な森林等において、手つかずの状態になることを防止するため、森林境界の明確化につながる情報の把握に努める必要があります。

3 事業の内容

航空レーザ測量の実施によるデータ取得と森林資源解析により、早急に整備が必要な森林の抽出等を行います。

(1) 航空レーザ測量 ※レーザ照射点密度4点/m²

- ・三次元計測データ、グリッドデータ、写真地図データ、等高線データ等を作成

(2) 森林資源解析

- ・林相区分データ作成

- ・単木解析（樹木本数、単木毎の位置、樹高、樹冠幅、樹冠長、胸高直径、材積等の把握）

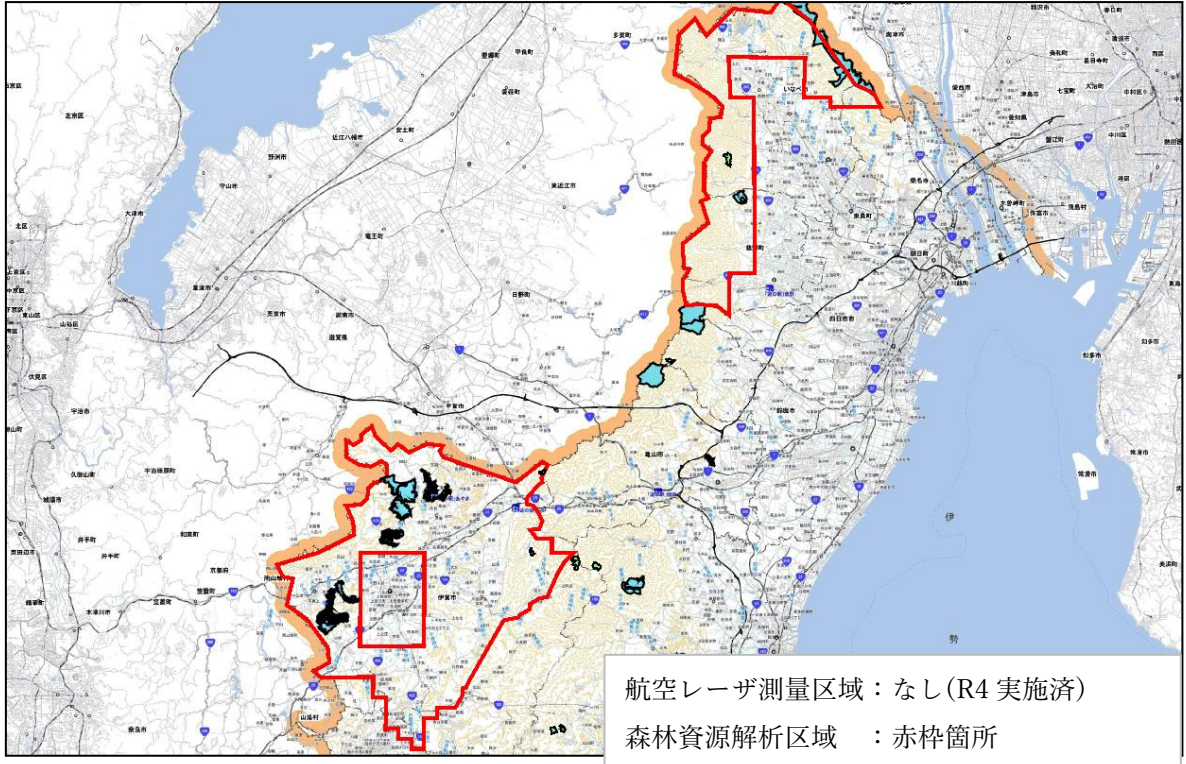
- ・林分解析（平均胸高直径、平均樹冠長、総材積、平均形状比、平均樹高、立木本数密度、収量比数、相対幹距比等の算出）

(3) 成果品：森林GISの主題図として、傾斜区分図、立体地形表現図、森林資源解析図を作成

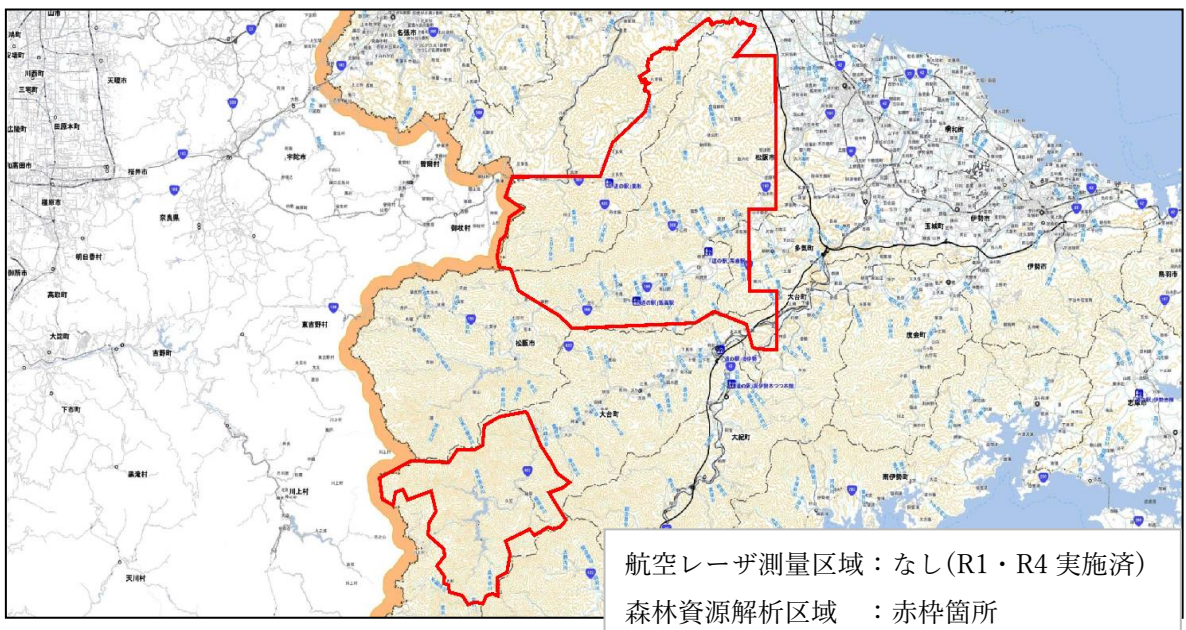
令和5年度事業計画

森林資源解析面積	予算額 (千円)	事業実施区域
約 758 km ² (7万5753 ha)	100,000	桑名市、いなべ市、菟野町、伊賀市、名張市、津市、松阪市、多気町、大台町、大紀町

1. 桑名市、いなべ市、菟野町、伊賀市、名張市 測量予定区域



2. 津市、松阪市、多気町、大台町、大紀町 測量予定区域



④ーア：みえ森林教育ビジョン推進事業（中間報告）

担当課：林業研究所 普及・森林教育課

基本方針：②県民全体で森林を支える社会づくり

対策区分：③森を育む人づくり

1 事業の目的

「森林や木材が暮らしや経済に当たり前に取り入れられている社会づくりへ向けた教育」、「森林に関わる活動やビジネスを志すきっかけとなる教育」、「自ら考え、判断して行動する力を育む森林教育」に取り組むことで、「みえ森林教育ビジョン」を実現し、「県民全体で森林を支える社会づくり」を推進します。

2 令和5年度事業の概要

みえ森林教育ビジョンを実現するため、森林教育の裾野を広げ、子どもから大人まで一貫した教育体系を構築し、主体的・対話的で深い学びの充実を図るためのイベントや講座の開催、みえ森林ワークブックの作成などの森林教育プログラムを展開します。

【具体的な取組】

- (1) 森林教育イベントの開催
 - ・第2回みえ森林教育シンポジウム
- (2) 森林教育プログラムの展開
 - ① 子ども向け講座【ジュニアフォレスター育成講座】
 - ② 指導者向け講座【森林をフィールドに子どもの「生きる力」を育む指導者養成講座】
 - ③ 学生向け講座【みえ森林教育 学生向け講座～森や木や自然にふれあい、学び、育む森林教育を考えよう～】
 - ④ 企業向け講座【みえ森林教育企業講座 SDG s 時代の企業における森林とのつきあい方について考える Vol.3】
 - ⑤ 大人向け講座【森のサイエンスカフェ】
 - ⑥ 幼児教育関係者向け支援【みえ森林教育アドバイザー派遣】
 - ⑦ 小学生向け冊子の発行
 - (A) 副読本「三重の森林とわたしたちの暮らし」
 - (B) みえ森林ワークブック

(1) 森林教育イベントの開催

【第2回みえ森林教育シンポジウム】

目的	森林教育に関心のある方から、実際に森林教育に取り組む実践者、また、子どもから大人など幅広い立場の県民が、ワークショップや体験教室に参加し、森林教育について学び、意見を交わし、考える機会を設けるほか、トークセッションや講演会を通じて、森林教育に対する理解を深め、これまで以上に様々な場面で森林教育を推進することを目的に、みえ森林教育シンポジウムの開催に向けた準備をしています。
日時	令和6年2月3日(土)10時から16時
場所	三重県総合文化センター 男女共同参画棟
対象	一般県民
内容	<p>第1部 ワークショップ及び森林教育体験</p> <p>【ワークショップ】 幼児教育・保育セッション テーマ：身近な自然を活用した幼児教育・保育</p> <p>【ワークショップ】 学校教育・森林教育指導者セッション テーマ：学校、地域と連携した森林教育</p> <p>【森林教育体験】 森のカトラリーづくり（小中学生） 里山の保全活動で出た小枝を使ったカトラリーづくり</p> <p>【森林教育体験】 森のおくりもの（対象：5歳以上小学生まで） 輪切りと木の実や枝を飾ったオブジェづくり</p> <p>【森林教育体験】 マガジンラックづくり（親子） 県産材を使ったマガジンラックづくり</p> <p>第2部 ステージプレゼンテーション</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第10回みえの森フォトコンテスト表彰式 ・講演会 「高知県立牧野植物園の紹介と身近な薬用植物・生薬・漢方薬」 講師：高知県立牧野植物園 園長 川原信夫 氏 ・トークセッション「地域とともに進める森林教育」

第 2 回

みえ森林教育シンポジウム

メインテーマ：地域とともに進める森林教育

2024年2月3日(土) 10:00~16:00

場所：三重県総合文化センター 男女共同参画棟

主催：三重県



身近な木・森・自然から学び

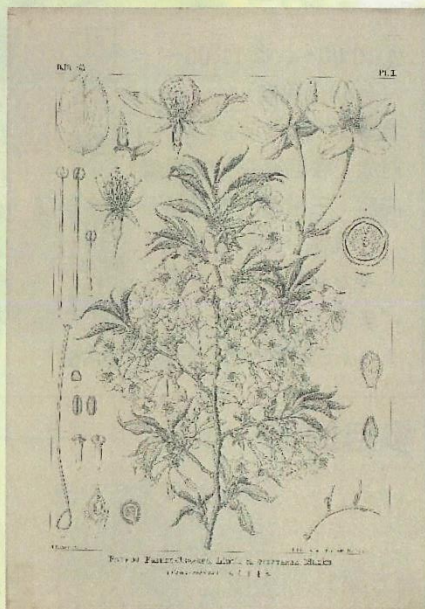
地域の人・文化をつなぐ森林教育を考えよう



～記念講演会～
高知県立牧野植物園の紹介と
身近な薬用植物・生薬・漢方薬

高知県立牧野植物園
園長 川原信夫氏

連続テレビ小説「らんまん」の
モデルとなった牧野富太郎博士の
功績を伝える、
高知県立牧野植物園の川原園長から、
私たちの身近に生育し、
我々の生活に密着してきた
薬用植物の魅力について、
ご講演いただきます。



植物図画像 ヤマザクラ
(高知県立牧野植物園 所蔵)



牧野富太郎肖像画像
(高知県立牧野植物園 提供)



【お問い合わせ先】三重県林業研究所普及・森林教育課
電話 059-262-5352 FAX 059-262-0960
メール miefa2@pref.mie.lg.jp



みえ森と緑の県民税

この取組には「みえ森と緑の県民税」が活用されています。

プログラム

それぞれ定員がございます。
事前に参加申込フォームより。お申し込みください。

第1部 ワークショップ

幼児教育・保育セッション



10:00～11:45 2F セミナー室A

定員：70名（事前の申し込みが必要です）

テーマ：身近な自然を活用した幼児教育・保育

モデレーター：宮里 暁美 氏

お茶の水女子大学 人間発達教育科学研究所 教授

アドバイザー：嘉成 永慈 氏

保育型認定こども園 森の風こども園 副園長

※ 県内の取組事例の発表のあと、意見交換を行います。

参加申込フォーム

学校教育・森林教育指導者セッション



10:00～11:45 3F セミナー室C

定員：70名（事前の申し込みが必要です）

テーマ：学校、地域と連携した森林教育

モデレーター：高田 研 氏

一般社団法人地球温暖化防止全国ネット 理事長

アドバイザー：平山 大輔 氏 三重大学教育学部 教授

佐藤 洋 氏

山梨県都留市ネイチャーセンター 学芸員

※ 県内の取組事例の発表のあと、意見交換を行います。

参加申込フォーム

森のカトラリーづくり

①10:00～、②11:00～
（各40分程度）

会場：1F 生活工房

対象：小中学生

各回10名程度（小学生は保護者同伴）

（事前の申し込みが必要です）

内容：里山の保全活動で

出た小枝を使って、
カトラリーを作ります。

（みえ森づくりサポートセンター）



参加申込フォーム



森のおくりもの

10:30～（60分程度）

会場：1F 生活工房

対象：5歳以上小学生まで

10名程度（保護者同伴）

（事前の申し込みが必要です）

内容：輪切りの木の上に

木の実や枝を飾って
オブジェを作ります。

（みえ森づくりサポートセンター）



参加申込フォーム



マガジンラックづくり

①10:00～、②11:00～
（各60分程度）

会場：3F フィットネスルーム

対象：各回親子8組程度

（事前の申し込みが必要です）

内容：三重県内の森林か
ら伐採した木を使って、
マガジンラックを作り
ます。

（三重県木材協同組合連合会）



参加申込フォーム



第2部 ステージプレゼンテーション [1F 多目的ホール]

13:00～ 開会

13:05～ 第10回みえの森フォトコンテスト表彰式

13:25～ 基調講演会「高知県立牧野植物園の紹介と身近な薬用植物・生薬・漢方薬」

高知県立牧野植物園 園長 川原 信夫 氏

15:10～ トークセッション「地域とともに進める森林教育」

登壇者：川原 信夫 氏、宮里 暁美 氏、高田 研 氏

コーディネーター：一般社団法人SDGsコミュニティ 代表理事 新海 洋子 氏

16:00 閉会

定員：300名



牧野富太郎肖像画像
（高知県立牧野植物園提供）

基調講演会「高知県立牧野植物園の紹介と身近な薬用植物・生薬・漢方薬」

連続テレビ小説「らんまん」のモデルとなった牧野富太郎博士の功績を伝える、高知県立牧野植物園の川原園長から、私たちの身近に生育し、我々の生活に密着してきた薬用植物の魅力について、ご講演いただきます。



川原 信夫：高知県立牧野植物園 園長

1962年東京都生まれ。

1984年星薬科大学薬学科卒業、薬剤師。1990年星薬科大学大学院薬学研究科博士課程修了、薬学博士。

同年国立衛生試験所（現国立医薬品食品衛生研究所）生薬部に採用され、漢方薬原料生薬の品質評価に関連する化学的研究に従事する。2002年から生薬部第一室長を経て、2009年より医薬基盤・健康・栄養研究所薬用植物資源研究センターに異動し、薬用植物の国内栽培振興に関連する調査・研究にも取り組む。2021年より現職。



牧野植物園 南園
（高知県立牧野植物園提供）

事前申込のうえ、
ご参加ください。



参加申込フォーム

※予告なく内容を変更する場合があります。

※ 第1部、第2部ともに、事前申込が必要ですが、ステージプレゼンテーションは、席に余裕がある場合は当日参加も可能です。

(2) 森林教育プログラムの展開

① 子ども向け講座

【ジュニアフォレスター育成講座】

目的	森林や自然、野外活動等に関心のある子どもたちの学びの意欲をさらに高揚し、森林・林業及び持続可能な社会への理解を促進するとともに、子供たちの創意工夫や適応力、寛容さなどを養い、「生きる力」を育むことを目的に講座を実施します。
開催日	令和5年12月23日(土)、24日(日) 令和6年1月13日(土)、14日(日) 計4日間
場所	三重県立熊野少年自然の家
対象	参加人数12人 小学校4年生から6年生
内容	<p>1回目：12月23日(土)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クイズでみえの森林・林業の姿を知る ・セーザイゲームで製材の仕事を知る、木取りの模擬体験をする ・木の大きさを予測・計測する ・ヒノキの伐倒体験 ・クリスマスリースづくり <p>2回目：12月24日(日)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・熊野の森と木の観察、樹木医の先生からその魅力を学ぶ ・木の二酸化炭素の吸収量を測る ・薪割り体験・焚き付け体験 ・木の活用法について考える <p>3回目：1月13日(土) (予定)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・竹を使った弓矢づくり ・焚き付け体験・野外炊事 ・セーザイゲームで原木市場と木取りの模擬体験 ・木の付加価値について考える <p>4回目：1月14日(日) (予定)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地元の山で育った木でイスづくり ・森の価値について考える

ジュニアフォレスター育成講座の開催状況



1回目：木取りの模擬体験



1回目：ヒノキの伐倒体験



2回目：熊野の森や木の観察



2回目：薪割り体験



2回目：焚き付け体験



2回目：クリスマスリースづくり

～森林の価値を考えよう！～

ジュニアフォレスター育成講座

2023年

2024年

12月23日(土)、12月24日(日)、1月13日(土)、1月14日(日)

※ 1月13日～14日は宿泊を伴うプログラムです。
参加決定後、保護者の同意書を提出していただきます。

三重県立熊野少年自然の家 (熊野市金山町1577 TEL0597-89-3340)

フォレスターとは、森林を守り育てて活用するプロフェッショナル。

森林の生き物を観察したり、木を伐りたおしたり、
丸太を木材にするゲームや、木を使った道具づくり、

そして火おこしなどの体験を通して、

きみもフォレスターになろう！

森林や木材のみりよくやはたらきについて、

学び・体感して考える4日間です！



※写真は、昨年
三重県民の森で
開催した際の様子で、
イメージです。

定員：15名程度

※ 応募者多数の場合は抽選となります。また、応募人数が10名未満の場合は中止とします。

※ 抽選結果や中止の場合等、いずれも同日にご連絡します。

対象：全4日間参加できる三重県内の小学4～6年生

※ご兄弟、ご友人同士の組抽選は行いません。※お子様だけのプログラムです。

参加費：12月23日：570円、12月24日：570円、1月13日～14日：1,610円

※ 食事代として、当日徴収いたします。

募集締切：令和5年12月15日(金)午前11時

申込方法：裏面の参加申込書により、電話、fax、e-mail、ハガキの

いずれかで下記、申込み先までお申し込みください。※ ハガキの場合は12月14日(木)必着

主催：三重県林業研究所、共催：(有)熊野市観光公社・三重県立熊野少年自然の家

申込み・問合せ先：三重県立熊野少年自然の家

〒519-4327 熊野市金山町1577

TEL 0597-89-3340 fax 0597-89-3387 e-mail : uketsuke@kuma-sho.com



4 日間のプログラム

第 1 日目：12月23日(土)

- 9：00 受付
 9：30 開講式・オリエンテーション
 三重・熊野の森林・林業を知ろう
 (お昼休み)
 木の大きさを測ろう
 木を伐りたおしてみよう
 クリスマスリースをつくろう
 15：30 解散

第 2 日目：12月24日(日)

- 9：00 受付
 9：30 熊野の森林の生き物を知ろう・見よう
 (お昼休み)
 木の二酸化炭素の量を測ろう
 火をおこしてみよう
 15：30 解散

第 3 日目：1月13日(土)

- 9：00 受付
 9：30 弓矢をつくってみよう
 自分でおこした火でカレーをつくろう
 (お昼休み)
 セーザイゲームで製材屋さんの仕事を知ろう
 (夕食：熊野少年自然の家)
 キャンプファイヤーお楽しみプログラム♪
 冬の夜空を楽しもう
 21：00 就寝(熊野少年自然の家 泊)

第 4 日目：1月14日(日)

- 6：30 起床
 (朝食・部屋の片付け)
 9：00 木で自分の椅子をつくろう
 森林の価値を考えよう
 閉講式
 11：45 解散

みえ森林教育の取組

三重県では、「みえ森林教育ビジョン」に基づき、森林と私たちの暮らし、経済がともに持続可能で豊かな社会をつくるために、誰もが森林や木に親しみ、自ら考え、判断して行動できる人に育つことを促す「みえ森林教育」の取組を進めています。

今回の講座では、小学生の皆さんに、森林での体験や学びを通して、仲間と楽しみながら森林の価値を探ることで、様々な気づきを得て、森林・林業・木への理解や関心を深めてもらいたいと考えます。

※写真は、昨年三重県民の森で開催した際の様子で、イメージです。



※ 天候等により日程及びプログラムの内容を変更する場合があります。

参加にあたっての注意事項

- ・ 野外活動に適した服装及び靴で、帽子、上着(防寒着)、筆記用具(ノート含む)、水筒をご持参ください。
- ・ 第3日目～第4日目は宿泊を伴います。パジャマ、洗面道具、バスタオル等各自必要なものをご持参ください。
- ・ けがや事故が発生した場合は、応急処置を行います。その補償につきましては、加入する保険の範囲内で行いますので、ご了承ください。

ジュニアフォレスター育成講座 参加申込書

申込先：三重県立熊野少年自然の家

〒519-4327 熊野市金山町1577 fax 0597-89-3387 e-mail: uketsuke@kuma-sho.com

- ・ FAX申込は各項目ご記入のうえ、そのままご送信ください。メール申込は下記事項をご記入のうえ、メールをご送信ください。
- ・ 収集した個人情報は三重県個人情報保護条例に基づき適切に管理します。

ふりがな 参加者氏名	(年生) (性別)	ふりがな 保護者氏名	
電話番号 日中連絡のつく番号		メール アドレス	
住所	〒	備考 連絡欄	

②指導者向け講座

【森林をフィールドに子どもの「生きる力」を育む指導者養成講座】

目的	「自ら考え、判断して行動する力を育む森林教育」を進めていくため、森林をフィールドに子どもの「生きる力」を育むことのできる指導者を育てることを目的に、講座を実施します。
開催日	令和5年11月25日(土)、12月2日(土)、12月3日(日) 12月16日(土)、12月17日(日) 令和6年1月13日(土)、1月14日(日) 計7日間
場所	速水林業大田賀山林、三重県林業研究所、 国立曽爾青少年自然の家、三重県立熊野少年自然の家
対象	参加人数 10 名 ・三重県内に在住、通勤又は通学している 18 歳以上の方 ・教育・保育関係者（志望者を含む）、森林教育指導者、自然体験等施設関係者又は当該分野に関する取組を実践されている方 ・原則、全日参加可能な方
内容	1 回目：11 月 25 日(土) 森林の姿と持続可能な利用について知る 場所：速水林業大田賀山林 2 回目：12 月 2 日(土) 子どもの生きる力を育む自然体験活動 ～指導者としての心構え～ 場所：三重県林業研究所 3 回目：12 月 3 日(日) 対象者を理解する～発達段階を踏まえた子どもとの関わり方～ 場所：三重県林業研究所 4 回目：12 月 16 日(土) そに森の子キャンプの視察と自然体験での指導法 場所：国立曽爾青少年自然の家 5 回目：12 月 17 日(日) 自然体験活動における安全管理 場所：国立曽爾青少年自然の家 6・7 日目：1 月 13 日(土)・14 日(日)（予定） 子どもを対象とした自然体験指導（実践） 場所：三重県立熊野少年自然の家

森林をフィールドに子どもの「生きる力」を育む指導者養成講座の状況



1回目：速水林業大田賀山林の視察



1回目：速水林業大田賀山林の視察



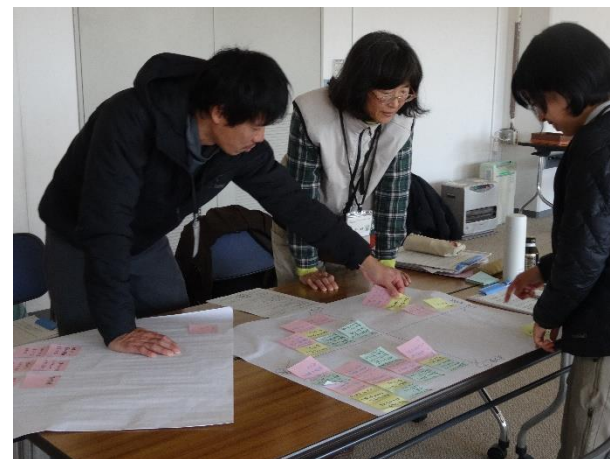
2回目：焚き付けの実習



3回目：対象者理解に関する講義



4回目：そに森の子キャンプの視察



5回目：安全管理の演習



森林をフィールドに子どもの「生きる力」を育む 指導者養成講座

自然体験活動指導者〔NEALリーダー〕資格取得可能カリキュラム



森林や野外をフィールドに、子どもたちの主体的、対話的で深い学びを促進し、「自ら考え、判断して行動する力」「生きる力」を育む指導者養成講座を実施します。

また、この講座は自然体験活動指導者（NEALリーダー）養成カリキュラムに相当する内容となっており、所定のカリキュラム修了時に認定試験に合格すると自然体験活動指導者（NEALリーダー）に登録することができます。

11/25(±)、12/2(±)、12/3(㊟)、12/16(±)、12/17(㊟)、1/13(±)、1/14(㊟)

■ 日 程：全7日間（日時・内容は下記の概要のとおり）

■ 講 師：速水林業代表 速水 亨氏（11月25日のみ）
天理大学体育学部体育学科准教授 蓬田 高正 氏
国立曾爾青少年自然の家所長 藤井 玄 氏 等（上記以外の日）

■ 対 象：次の要件を全て満たす方
・三重県内に在住、通勤又は通学している18歳以上の方
・教育・保育関係者（志望者含む）、森林教育指導者、自然体験等施設関係者又は当該分野に関する取組を实践されている方
・原則、全日参加可能な方

■ 定 員：10名程度（申込先着順）

■ 参加費：無料
※ ただし、曾爾青少年自然の家（第4・5回）及び熊野少年自然の家（第6・7回）において、宿泊及び食事を希望されます場合は、施設利用料及び食費をご負担いただきます。

■ 申込方法：右記のQRコード、三重県林業研究所ホームページ、みえ森林・林業アカデミーフェイスブックから、専用申込フォーム（<https://logoform.jp/form/8vMX/354305>）にアクセスしてお申し込みください。お問合わせは、下段に記載の林業研究所普及・森林教育課までご連絡ください。

■ 申込締切：令和5年11月15日（水）17時
※ 申込人数が定員に達した場合、申込を早期に締め切る場合があります。

■ 概 要：1. 導入（第1回）
「持続可能な森林利用」に関する基礎知識と環境に配慮した林業について、講義と現地視察を通じて学び、日本の森林・林業の課題について考えます。
2. 講義・実習（第2回～第5回）
森林・野外での体験活動の意義や指導者としての技術、対象者理解、安全管理に加え、子どもの生きる力を育む体験活動の先進地視察から活動の運営方法や指導者の子どもとのかかわり方について学びます。
3. 実践（第6回～7回）
視察や講義・実習で学んだことをもとに、県主催の小学生を対象とした森林教育講座「ジュニアフォレスト育成講座」において、運営スタッフとして運営に関わります。

■ 主 催：三重県 ■ 共 催：（独）国立青少年教育振興機構 国立曾爾青少年自然の家



専用申込フォーム
QRコード



○問合せ先：三重県林業研究所普及・森林教育課
〒515-2602 津市白山町二本木3769-1 TEL：059-262-5352 / FAX：059-262-0960 Mail：miefa2@pref.me.lg.jp

■第1回 フィールド（森林）についての理解、「持続可能な森林利用」

日時：令和5年11月25日(土)10:00-15:00

場所：速水林業大田賀山林（紀北町上里地内）

講師：速水林業代表 速水亨氏

■第2回 子どもの生きる力を育む自然体験活動 -指導者としての心構え-

日時：令和5年12月2日（土）10:00-15:00

場所：三重県林業研究所みえ森林・林業アカデミー棟中教室（津市白山町二本木3769-1）

■第3回 対象者を理解する -発達段階をふまえた子どもとの関わり方-

日時：令和5年12月3日（日）10:00-15:00

場所：三重県林業研究所みえ森林・林業アカデミー棟中教室（津市白山町二本木3769-1）

■第4回 そに森の子キャンプ（国立曽爾青少年自然の家主催）の視察

日時：令和5年12月16日(土)13:00-15:00

場所：国立曽爾青少年自然の家（奈良県曽爾村太良路1170）

■第5回 自然体験活動における安全管理

日時：令和5年12月17日（日）10:00-15:00

場所：国立曽爾青少年自然の家（奈良県曽爾村太良路1170）

■第6回 活動実践①

日時：令和6年1月13日（土）10:00-16:00

場所：三重県立熊野少年自然の家（熊野市金山町1577）

■第7回 活動実践②

日時：令和6年1月14日（日）10:00-14:30

場所：三重県立熊野少年自然の家（熊野市金山町1577）

この取組には
「みえ森と緑の県民税」が
活用されています。



注意事項

- ・申し込み時に記載していただいた個人情報は、「三重県個人情報の保護に関する法律施行条例」に基づき適切に管理し、本講座の運営及び当該分野に係る情報提供以外の目的で使用することはありません。
- ・自然体験活動指導者（NEAL リーダー）の登録に必要な登録料（一般 5,000 円、学生 3,000 円）は自己負担となります。
- ・講座実施中に写真や動画を撮影し、県の広報媒体で使用させていただくことがあります。撮影が不可の方はあらかじめお申し出ください。
- ・野外での活動は、小雨決行です。荒天の場合は予定を変更する場合があります。
- ・雨具の用意と野外を歩ける靴、服装で参加してください。
- ・昼食と飲料を持参してください。
- ・基礎疾患をお持ちの方で、感染リスクを心配される方は参加をご遠慮いただくようお願いします。
- ・発熱等の症状がある方は参加できません。また、感染防止対策にご協力をお願いします。
- ・気象状況や感染状況により実施方法を変更、または中止する場合があります。

③ 学生向け講座

【森や木や自然にふれあい、学び、育む森林教育を考えよう～】

目的	将来森林教育に携わりたいと考える学生などを対象に、森林や木、自然にふれあいながら学び育む教育・保育について考えることを目的に、講座を開催しました。
開催日	令和5年9月19日(火)、9月22日(金) 2日間
場所	三重県林業研究所 森の風こども園、三栄林産 かぶとの森テラス
対象	主に大学・短大・専門学校・大学校等の教育機関に在学する方で森林・自然、野外体験等を活用した教育・保育・子どもの育ち、森のようちえん、木育などに関心のある方 8名
内容	1日目：9月19日(火) 場所：三重県林業研究所 「なぜ森林教育なのか～SDGsとわたし」 講師：(一社)SDGsコミュニティー代表理事 新海洋子氏 「森と社会の関係を知ろう」「木について知ろう」 講師：熊本大学教育学部教授 田口 浩継 氏 2日目：9月22日(金) 場所：森の風こども園 「森のようちえんを体感しよう」 場所：三栄林産 かぶとの森テラス 「森林・林業・木材産業の現場を体感しよう」

学生向け講座の状況



1回目：講義「なぜ森林教育なのか」



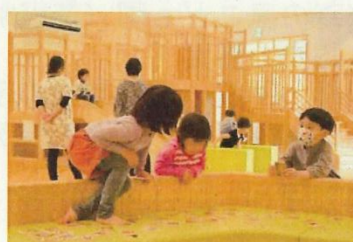
2回目：製材所視察の様子

みえ森林教育 学生向け講座

森や木、自然に ふれあい、学び、育む 森林教育を考えよう

参加費
無料

森や木、自然にふれあいながら学び育む教育・保育の実践に向けて、森林教育について学び、考える、学生向け講座を開催します。森と社会との関係や木について知るとともに、森林教育や森林・林業・木材産業の現場を体感することのできる2日間となっていますので、ぜひご参加ください。



9/19 火 , 9/22 金

全2日間、詳細は裏面をご覧ください

開催場所 9月19日 三重県林業研究所（津市白山町二本木3769-1）
9月22日 森の風こども園（三重郡菰野町千草1622）
三栄林産 かぶとの森テラス（亀山市加太中在家8125）
亀山市林業総合センター（亀山市加太板屋4622-1）
※9/22は近鉄四日市駅に集合、津駅にて解散となります。

主催 三重県

参加費 無料

対象 主に大学・短大・専門学校・大学校等の教育機関に在学する方で、森林や木、自然を活用した教育・保育などに関心のある方（全2日間に参加できる方）

定員 15名
※先着順/県内に在学・在住する方を優先する場合があります。

申込方法 QRコード/三重県林業研究所ホームページ/みえ森林・林業アカデミーFacebookページから講座受付フォームにアクセスしてお申し込みください。



申込期限 令和5年9月5日（火）17:00まで
※定員に達した時点で募集を締め切ります。

お問合せ 三重県林業研究所 普及・森林教育課
TEL 059-262-5352 FAX 059-262-0960
E-mail miefa2@pref.mie.lg.jp 27



この講座は「みえ森と緑の県民税」を活用して実施しています。

■ スケジュール

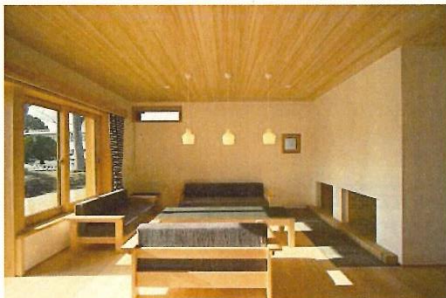
1 日目 (9月19日)

- 9:30~10:00 あいさつ・オリエンテーション
- 10:00~11:30 『なぜ森林教育なのか ~SDGsとわたし』
(一社)SDGsコミュニティ代表理事 新海 洋子 氏
- 11:30~12:00 三重県林業研究所 みえ森林・林業アカデミー棟 施設見学
- 13:00~16:00 『森と社会の関係を知ろう』『木について知ろう』
熊本大学教育学部教授 田口 浩継 氏
- 16:00~16:30 ふりかえり・意見交換

2 日目 (9月22日)

- 9:30~10:00 近鉄四日市駅集合・バス移動
- 10:00~11:15 『森のようちえんを体感しよう』
※森の風こども園 (菰野町千草)
- 11:15~13:15 バス移動・昼食
- 13:15~14:45 『森林・林業・木材産業の現場を体感しよう』
※三栄林産 かぶとの森テラス (亀山市加太中在家)
- 14:45~15:00 バス移動
- 15:00~16:00 ふりかえり・意見交換
- 16:00~16:30 バス移動・津駅にて解散

※(一社)SDGsコミュニティ代表理事 新海洋子氏には、全日程のモデレーターとしてもご参加いただきます。
※両日ともに各自昼食をご持参ください。



みえ森林・林業アカデミー棟



森の風こども園



かぶとの森テラス

■ 講師紹介

新海 洋子 (しんかい ようこ)



一般社団法人 SDGsコミュニティ代表理事

SDGs・ESDプログラム開発、協働による地域課題解決の取組創出、協働による政策づくり、ESD/SDGs研修等を行う。

田口 浩継 (たぐち ひろつぐ)



熊本大学 教育学部 教授

木育・木材利用、森と人との関わりについての啓発に尽力。
熊本県が発行する小学生・中学生の森林・林業・木材産業に関する副読本の監修を務める。

④ 企業向け講座

【みえ森林教育 企業講座 SDG s 時代の企業における森林とのつきあい方について考える Vol.3】

目的	企業（事業者）を対象に、代々手入れされてきた林業地を見学することで、森林を知る体験をし、森林の現状や森林を活用することの意義などについて学び、企業が森林との結びつきやビジネスチャンスなどについて考える機会を創出することを目的に、講座を実施しました。
開催日	令和 5 年 9 月 26 日(火)、11 月 10 日(金) 2 日間
場所	速水林業大田賀山林、三重県林業研究所 他
対象	参加人数 7 社 11 名 三重県内に本社、または事業所を置かれている企業の方 (林業関係事業体を除く)
内容	総合講師：三重大学人文学部教授 青木 雅生 氏 1 回目：9 月 26 日(火) 場所：速水林業大田賀山林 「森林・林業に関する講義」「林業地見学」 講師：速水林業 速水 亨 氏 2 回目：11 月 10 日(金) 場所：三重県林業研究所、woodjob(株) 「製材所見学」「林業に関する講義」 ディスカッション「SDG s 時代の企業における森林との付き合い方」

企業向け講座の状況



1 回目：林業地視察の様子

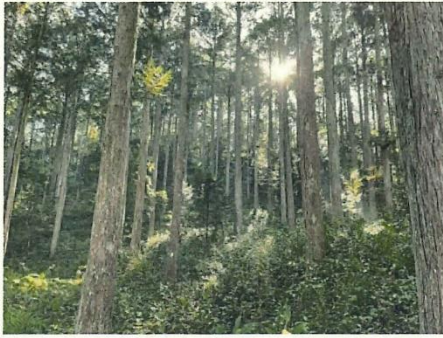


2 回目：ディスカッションの様子

令和5年度みえ森林教育 企業講座

SDGs時代の企業における森林とのつきあい方について考える vol.3

～ 三重の資源、森と木をどう活かすか ～



日本の森林は、木材利用だけでなく、国土保全や水源かん養など、私たちの暮らしを支える重要な役割を担っています。今まさに利用期を迎えているにも関わらず、この豊富な資源が十分に活用されず、林業や木材産業の担い手が不足する中、森林をいかに健全な状態で持続させていくかが大きな課題となっています。

SDGsの時代にあって、私たちを取り巻く環境や社会、経済がうまく調和し、持続可能で豊かな社会をつくっていくためには、三重県の森林を上手く活用し、林業・木材産業だけにとどまらず、健康、観光、教育などの新たな視点で事業を展開するなど、森林や木材が私たちの暮らしの中で、ごく当たり前に取り入れられている社会をつくっていく必要があります。

県では、森林や森林資源を活用する担い手として、林業以外の業種の企業にも注目し、企業が新たに森林との結びつきや木材利用、さらには新たなビジネスチャンスなどを考えるきっかけをつくりたいと考え、企業の方を対象とした講座を開催します。

本講座では、実際に林業地や製材・加工場を訪れ、講義と林業最前線の事業者を交えたディスカッションや交流を通じて、これからの森林とのつきあい方について様々な視点から考えていきます。

企業講座参加者募集

全2日間
定員15人(先着順)

令和5年度みえ森林教育 企業講座

「SDGs時代の企業における森林とのつきあい方について考える vol.3」

対象 三重県内に本社、または事業所を置かれている企業の方(林業関係企業を除く)
全2日間の受講が可能な方を対象とし、1企業につき2名まで参加可

内容 ・日本の森林や林業について知っていただく講義
・林業現場(林業地、製材所など)の見学
・森林や林業、地域とのこれからのつきあい方に関するディスカッション
・異業種の方との交流

講師 全日程のモデレーター：青木 雅生氏(三重大学リカレント教育センター 教授)
講師：速水 亨氏(速水林業代表)、青木 雅俊氏(woodjob株式会社代表取締役)
木村 寿志氏(木村森業株式会社代表取締役)

日程 全2日間
第1日目 令和5年 9月26日(火) 10:00~16:30
(集合) 速水林業大田賀山林(三重県北牟婁郡紀北町海山上里) 9:45現地集合
第2日目 令和5年 11月10日(金) 9:00~17:00
(集合) 三重県林業研究所(津市白山町二本木 3769-1) 8:45集合
現地見学: woodjob株式会社(津市美杉町丹生俣)

受講料 無料

主催: 三重県林業研究所

⑤ 大人向け講座【森のサイエンスカフェ】

目的	森林教育の裾野の拡大を目的に、森林や木材が暮らしや経済に当たり前に取り入れられている社会づくりについて考える、一般県民を対象とした「森のサイエンスカフェ」を開催しました。
日時	令5年9月18日（月・祝）14時から16時
場所	BROOK FURNITURE CENTER（四日市）
対象	一般県民
内容	木や森の魅力を考える 講師：熊本大学教育学部 教授 田口 浩継 氏 （内容） 講師からの講義のあと、参加者で意見交換をしました。

大人向け講座の開催状況



田口氏による講義の様子



森のサイエンスカフェ ①

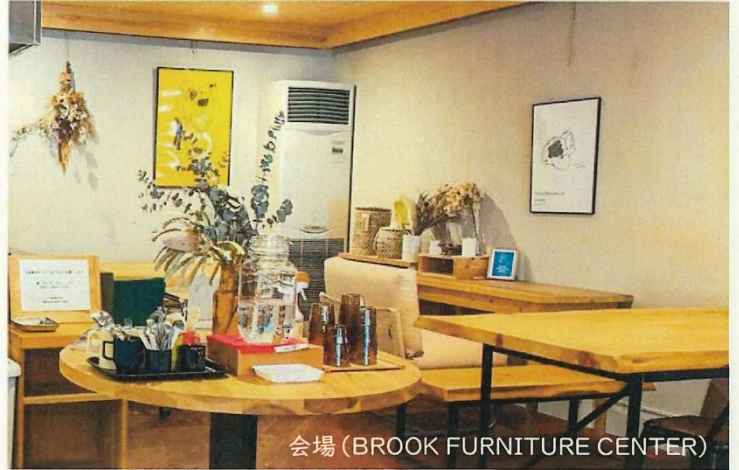


木や森の魅力を考える

9/18 (月・祝)

主に、鈴鹿川の上流の山で育った地域の木で作られた家具を、下流の街で販売しているBROOK FURNITURE CENTERのレンタルスペースで、木や森の魅力や、私たちの生活と森のつながりについて、一緒に考えませんか。

いくつになっても、知りたい・学びたい! 森の話で、知的好奇心をかきたてよう。



■ 講師紹介

田口 浩継 (たぐち ひろつぐ) 先生

熊本大学 教育学部 教授

木育・木材利用、森と人との関わりについての啓発に尽力。

熊本県が発行する小学生・中学生の森林・林業・木材産業に関する副読本の監修を務める。



■ 日時: 令和5年9月18日(月・祝) 13時30分受付 14時から16時まで

■ 場所: BROOK FURNITURE CENTER (JR四日市駅から徒歩6分、近鉄四日市駅から徒歩16分)

〒510-0061 三重県四日市市朝日町11-3

■ 参加費: 無料

■ 対象: 18歳以上の方(15名程度、先着順)

■ 申込方法: 三重県林業研究所ホームページ/みえ森林・林業アカデミーFacebookから専用受付フォームにアクセスしてお申し込みください。

■ 申込期限: 令和5年9月11日(月)15時まで

■ お問い合わせ先: 三重県林業研究所普及・森林教育課

電話059-262-5352 fax059-262-0960 E-mail:mief2@pref.mie.lg.jp

= 参加にあたっての注意事項 =

- ・ 駐車スペースが限られています。公共交通機関をご利用のうえ、ご参加ください。
- ・ 飲み物の持ち込みは自由ですが、アルコール類の持ち込みはご遠慮ください。
- ・ ゴミは各自、お持ち帰りください。

※「サイエンスカフェ」とは、カフェのような雰囲気の中で科学を語り合う場で、イギリスやフランスが期限と言われています。



専用受付フォームの
QRコード

主催: 三重県 この講座は「みえ森と緑の県民税」を活用して実施しています。



⑥ 幼児教育関係者向け支援【みえ森林教育アドバイザー派遣】

目的	森林や木、木材に親しみ、自ら考え、判断して行動できる人づくりを目的とした「みえ森林教育」を推進するため、未就学児を対象とした保育、幼児教育を行う現場での森林教育の取組を支援することを目的に、森林教育アドバイザーを派遣しています。
日時 場所	令5年9月から令和6年2月 県内の保育施設
対象	森林を活用した保育に取り組みたい、県内の保育所、幼稚園及び認定こども園や市町 4か所
内容	<p>アドバイザー：認定こども園森の風こども園 副園長 嘉成永慈氏 ふらここ保育園（紀北町） 9月6日(水)：現場確認 10月26日(木)：保育指導 12月21日(木)：保育指導</p> <p>よっかいちひばり保育園（四日市市） 9月7日(木)：現場確認 11月30日(木)：保育指導 1月11日(木)：保育指導（予定）</p> <p>きしだこども園（鈴鹿市） 10月25日(水)：現場確認 12月15日(水)：保育研修会 1月24日(水)：保育指導（予定）</p> <p>名張市（こもはら保育所） 11月10日(金)：現場確認 11月22日(水)：保育指導</p>

⑦ 小学生向け冊子の発行

(A) 副読本「三重の森林とわたしたちの暮らし」

目的	「みえ森林教育ビジョン」の趣旨に則り、森林教育の裾野の拡大のための取組として、児童が三重県の森林について知識を深め、関心を持つきっかけとなることを目的に、小学5年生の社会科に対応した副読本を発行・配布しました。
日時	令和5年7月発行・配布
対象	県内の小学校に通う小学5年生の全ての児童



(B) みえ森林ワークブックの開発・発行

目的	「みえ森林教育ビジョン」の趣旨に則り、主体的・対話的な学びを取り入れた教育手法の体系化を図ることを目的に、小学校の学習指導要領に適合した令和5年度版「みえ森林ワークブック」を配布しました。 また、「みえ森林ワークブック」に対応した動画を制作するとともに、令和6年度版「みえ森林ワークブック」を発行します。
日時	令和5年度版ワークブック配布 令和5年7月 関連動画作成 令和5年8月から令和6年1月まで 令和6年度版ワークブック発行 令和6年3月
対象	県内の小学校に通う5年生及び6年生の全ての児童

みえ森林ワークブック 5年生 社会

名前 _____
組 _____

もくじ

- 森林のようす ～天然林と人工林～…………… P.1
- 森林を育て、守る人々 ～木材生産と木材輸入～…………… P.3
- 森林のはたらき ～森林の適正な管理～…………… P.5
- 緑の循環 ～木材利用の大切さ～…………… P.9
- 森林を守る取組 ～わたしたちができること～…………… P.11
- 【資料集】森林のすがた(三重県・日本・世界)…………… P.13

森林とわたしたちのくらし

森林を育て、守る人々 ～木材生産と木材輸入～

問題2 林業とは、どんな仕事なんだろう。また、森林を手入れすることは、わたしたちのくらしにどのような関わりがあるのだろうか。

1 教科書や副読本「三重の森林とわたしたちのくらし」を参考に、6枚の写真を見ながら、育てて木材を生産する順番に並べよう。

2 切り出された木はどのように使われているのだろうか。予想したことを書きましよう。

3 2つのグラフを見て、三重県と日本の林業の課題について考えたことを書きましよう。

日本の木材生産量と木材自給率の推移

三重県と全国の林業従事者数の推移

まとめ 森林ではたらく人が減ると、どのような影響が出るのだろうか。今日の学習を振り返って、わかったことや疑問に思ったことを書きましよう。

コラム みえ森林・林業アカデミー

三重県では、森林・林業・木材産業、または地域社会のさまざまな課題に強んで取り組む、リーダーとなる人を育てるため、平成31年4月に「みえ森林・林業アカデミー」を創設しました。みえ森林・林業アカデミーには、3つの基本コースがあり、自分にあった講座を選択し、はたらきながら森林・林業・木材産業について学ぶことができます。

わたしたちのくらしと、三重県の自然や森林のすがた

問題1 わたしたちのくらしと、三重県の自然や森林のすがたをみつめよう。

1 下のイラストには何が描いてありますか。発見したものを丸で囲み、下の□の中に書きましよう。

6年生 理科

「地球に生きるわたしたちと森林」

生活の身近にある水、空気そして食べる、食べられるのつながりについて考え、地球上の様々な物質と森林、そしてわたしたちの生活が深く関わっていることを学ぼう。また、森林のはたらきについて自分たちで調べて、森林の大切さを感じよう。

わたしたちのくらしと、三重県の自然や森林のすがた
わたしたちのくらしと、三重県の自然や森林のすがたをみつめよう。

地球にある水の循環
水は、すがたを変えながら、どこからどこへ移動しているのだろうか。

地球にある空気と生物の関わり
地球にある酸素と二酸化炭素は、どこからどこへ出入りしているのだろうか。

地球にすむ生物のつながり(食物連鎖)
森林にすむ生物たちの食べる、食べられるの関係を考えよう。

水、空気、生物、そして森林とのつながり
わたしたちのくらしにとって、森林はどのような役に立っているのだろうか。

- 【水】 森林のはたらき「川や海をきれいにする」
- 【空気】 森林のはたらき「二酸化炭素をたくわえる」「きれいな空気をつくる」
- 【生物】 森林のはたらき「動物のすみかとなる」
- 【水】 森林のはたらき「木材を生み出す」
- 【空気】 森林のはたらき「水をたくわえる」「土を支える」
- 【水】 森林のはたらき「土をよけ防ぐ」

発行 三重県森林水産部
監修 みえ森林ワークブック制作検討会
協力 三重県教育委員会事務局
制作 株式会社アイブレン
発行年月 令和5年3月

問い合わせ
三重県森林研究所及、森林教育課
〒515-2602 津市白土二丁目3769-1
TEL 059-262-5332 FAX 059-262-0960
e-mail: mie63pref@mie.jp

このワークブックは「みえ森と緑の循環利用」を活用して作成されました。

制作した動画の概要

・「みえ森林ワークブック」に関連する動画 8本

	小学生5年生社会	小学生6年生理科
メイン タイトル	聞いてみよう 森林を守る人、育てる人のお話	調べよう 森林を守る人、育てる人
サブ タイトル①	森林を育て、守る人々 ～木材生産と木材輸入～	森林のはたらき 「二酸化炭素をたくわえる」 「きれいな空気をつくる」
サブ タイトル②	森林のはたらき ～森林の適正な管理～	森林のはたらき 「動植物のすみかとなる」
サブ タイトル③	緑の循環 ～木材利用の大切さ～	森林のはたらき 「水をたくわえる」 「土を支える」
サブ タイトル④	森林を守る取組 ～わたしたちにできること～	森林のはたらき 「風や砂を防ぐ」

動画撮影の様子



小学5年生社会③緑の循環

小学6年生理科④
森林のはたらき「風や砂を防ぐ」

動画のカットシーン



小学5年生社会④共通タイトル



小学5年生社会①森林を育て、守る人々

④ーイ：みえ森づくりサポートセンター運営事業（中間報告）

担当課：林業研究所 普及・森林教育課

基本方針：②県民全体で森林を支える社会づくり

対策区分：③森を育む人づくり

1. 事業の目的

森林教育や森づくり活動に携わる人材の育成を図るとともに、これらの活動に地域や学校等で取り組みやすい体制を整えることで、「県民全体で森林を支える社会づくり」を推進します。

2. 令和5年度事業の概要

学校や地域で実施される森林教育や森づくり活動にかかる相談窓口となる「みえ森づくりサポートセンター」を運営し、森林教育や森づくり活動に対する、広域的・総合的なサポートします。

【具体的な取組】

- (1) 森林教育指導者や学校関係者を対象とした養成講座の開催
 - ① 森林教育指導者養成講座【地域講座】
 - ② 森林教育指導者養成講座【スキルアップ講座】
 - ③ 学校教職員森林環境教育研修
- (2) 森林教育指導者等への活動支援
 - ① 森のせんせい登録、② 森のせんせい座談会、③ 森の学校
 - ④ 物品の貸出
- (3) 学校現場における森林教育の支援
 - ① 森林教育出前授業、② 森林教育活動のコーディネート
- (4) 森の写真教室及びみえの森フォトコンテストの実施
 - ① こども森の写真教室
 - ② 第10回みえの森フォトコンテスト
 - ③ みえの森フォトコンテスト入賞作品展示
- (5) 森づくり活動の支援
 - ① 県民参加の植樹祭、② 森づくり活動支援講座
- (6) 森林教育・森づくり活動に関する相談対応
- (7) 森林教育・森づくりに関する情報提供
 - ① 森林教育活動事例集、② 森林づくりニュース
 - ③ ホームページや SNS を活動した情報発信

(1) 森林教育指導者や学校関係者を対象とした養成講座の開催

森林教育の推進に向けた指導者養成講座及び学校教育関係者を対象とした研修を実施しました。

- ① 森林教育指導者養成講座【地域講座】：地域の特性に応じた指導者養成講座を7回実施し、109名が参加しました。

講座名	開催日	開催場所	募集人数	受講人数
【四日市地域】 野外活動安全管理編	4月23日(日)	四日市市少年自然の家 (四日市市)	10名	12名
【伊勢地域】 知識編	7月23日(日)	吉田本家山林部の森林 ヒノキ家研修室(大紀町)	10名	12名
【伊勢地域】 森林教育指導者養成編	8月3日(木)	伊勢市立小俣小学校(伊勢市)	20名	11名
【津地域】 木育初級編	8月8日(火)	三重県林業研究所(津市)	10名	14名
【津地域】 技術編インタープリテーション	9月2日(土)	高田短期大学(津市)	10名	15名
【四日市地域】 自然保育編	10月29日(日)	亀山市鈴鹿馬子倶会館、 鈴鹿峠自然の家(亀山市)	25名	29名
【熊野地域】 見学編(流通・加工)	12月9日(土)	熊野原木市場協同組合 株式会社 nojimoku(熊野市)	15名	16名

受講者の声

- ・クップを通じて森林教育を広げていきたいです。(8月3日クップ編)
- ・未来の子どもたちが幸せになるため、今、私たちにできることを考えました。五感を刺激し、好奇心、探究心を高めることが大切だと思いました。(8月8日木育初級編)
- ・改めて、木の温かさや機能性などを再確認できたので大変役に立ちました。(8月8日木育初級編)
- ・保育の現場をはじめ、様々な立場の参加者と一緒にできてとても良かったです。(9月2日技術編インタープリテーション)



知識編



見学編(流通・加工)

② 森林教育指導者養成講座【スキルアップ講座】：森林教育の指導者のスキルアップ講座を3回実施し、23名が参加しました。

講座名	開催日	開催場所	募集人数	受講人数
知識編	6月25日(日)	三重びよクエの森(三重県民の森) 朝明溪谷、砂防学習ゾーン 他	10名	10名
LEAF ローカルインストラクター	8月26日(土) 8月27日(日)	吉田本家山林部、 ひのき家2階研修室(大紀町)	10名	9名
木育中級編	11月19日(日)	松阪市森林公園	10名	14名

受講者の声

・ 治山と砂防の本来の目的、なぜ工事をしなければならないのかよく理解できた。やはり森林は遠くから見るものではなく自分の足で確かめることが重要と思った。(6月25日知識編受講者)

・ LEAFの森林環境教育を通じて、よりよい選択をする人を育むという内容のルートがすっきりしていてわかりやすいと思った。(8月26・27日LEAFローカルインストラクター編)

・ 特に準備物がなくても、その場の自然にあるものを使って、いろんなことができることがわかって、とても勉強になりました。(8月26・27日LEAFローカルインストラクター編)

・ 道具の扱い方や危険性、安全に行うための注意点等を教えていただけたのがとても良かったです。(11月19日木育中級編)



知識編



木育中級編

- ③ 学校教職員森林環境教育研修：学校での森林教育の取組促進を図るため、県教育委員会事務局との共催により学校教職員を対象とした研修（1回）を実施し、15名が参加しました。

講座名	開催日	開催場所	募集人数	受講人数
学校教職員森林環境教育研修	7月28日（金）	三重大学教育学部	15名	15名

受講者の声

- ・校庭の木々の変化を伝えたり、身近な樹木を話題にしたりすることで、児童が樹木に関心を持つ機会を作っていきたいと感じた。
- ・身近で実践できる実習内容であり、授業で活用できそうな研修内容だった。



クスノキの観察



二酸化炭素の固定量の測定

（2）森林教育指導者等への活動支援

① 森のせんせい登録

県民やさまざまな主体の参画による森林教育を進めるため、森林教育指導者の活動内容等の情報を学校や関連施設に提供し、森林教育の場や機会を拡大することを目的に、森林や自然環境に関する学習の指導者を「森のせんせい」として登録しています。

② 森の先生座談会

森のせんせいなど森林教育者のネットワーク構築を目的に、森のせんせい座談会を3回予定しており、これまでに2回開催しました。

対象地域	開催日時	開催会場	備考
北勢地域	7月15日(土) 10:00～15:45	ぎふ木遊館 TUBAKILAB	
中南勢・伊賀地域(津会場)	6月24日(土) 10:00～12:00	三重県林業研究所	6名
伊勢志摩地域	2～3月頃予定	—	



中南勢・伊賀地域対象の座談会



北勢地域対象の座談会

③ 森の学校

これから森林教育指導者として活躍する意欲のある森のせんせいが、森林教育を実践し、経験を積む場として、森林や木について楽しく学べることをテーマに、森林散策や木工体験等を行う「森の学校」を21回予定しており、これまでに14回実施し492名が参加しました。

【森の学校開催一覧】

番号	開催場所	開催日	森の学校名	参加者数
1	イオンモール東員	4月1日(土)	いなべの木でお道具箱を作ろう	32名
2	イオンモール東員	4月2日(日)	森の木端でウサギやネコを作ろう	36名
3	松阪市森林公園	4月16日(日)	ことりの鳴き声が出せる笛を作ろう	73名
4	イオンモール四日市北	4月22日(土)	木の木端でロボットを作ろう	28名
5	イオンモール四日市北	4月23日(日)	三重県の木でターナーやカッティングボードを作ろう	30名
6	みえこどもの城	5月20日(土)	初夏の生き物と自然観察会	40名
7	みえこどもの城	5月20日(土)	自然観察とネイチャーゲーム	31名
8	みえこどもの城	5月20日(土)	スケルトンリーフ作り	24名
9	みえこどもの城	5月20日(土)	間伐材でイス作り	25名
10	伊賀びよクエの森	5月28日(日)	バードコールで野帳と遊ぼう	35名
11	松阪市森林公園	7月9日(日)	ヒノキのポンポン作り	27名
12	三重県林業研究所	11月26日(日)	マイ箸作り	27名
13	三重県林業研究所	11月26日(日)	自然観察	18名
14	松阪市森林公園	12月10日(日)	ヒノキリボンのポンポン作り	66名



5月20日
自然観察とネイチャーゲーム



7月9日
ヒノキのポンポン作り

④ 物品の貸出

地域における森林教育活動を支援することを目的に森のせんせい、森づくり活動団体、市町及び県を対象に、森林教育活動や森づくり活動に必要な物品などを貸し出しています。

(貸し出し状況)

番号	貸出先	貸出物品	貸出期間	用途・イベント等
1	森のせんせい	クップ2組	4月4日～ 4月18日	安濃交流会館 HAPPY VOTIGN!
2	三重県立熊野 古道センター	すべり台1基、もりぼー る四角枠1組、ジョイント マット36枚、イベント 用テント1組	4月28日～ 5月10日	ゴールデンウィークド リームフェスタ2023
3	伊賀市丸柱区 市民センター	ヘルメット(40個)	7月12日～ 7月18日	森を美しく・士で学ぶ 『もりとつちっこ』体 験活動
4	伊賀上野びよ クエの森	もりぼー八角1式	5月26日～ 7月3日	伊賀上野びよクエの森
5	森のせんせい	ヘルメット20個	6月7日～ 6月13日	亀山市関町沓掛
6	森のせんせい	もりぼーる四角1式、 DVD「つかって元気に」 1枚	8月4日～ 8月7日	ザ・オランジェガーデン 五十鈴川
7	森のせんせい	カナヅチ10本	6月14日～ 6月14日	三重県林業研究所
8	松阪農林事務 所	子どもフォレスターなり きりセット1式、丸太切 り台3台	6月24日～ 6月26日	みえこどもの城
9	森のせんせい	子どもフォレスターなり きりセット1式、丸太切 り台1台、もりぼーる四 角1式、四方すべり台1 式、ジョイントマット36 枚、尾鷲ヒノキ積木2セ ット	9月1日～ 9月4日	津松菱百貨店
10	伊賀上野びよ クエの森	キッズスペース1式	7月3日～ 9月11日	伊賀上野びよクエの森
11	森のせんせい	バーニングペン4本	7月21日～ 7月24日	亀山市加太中在家
12	森のせんせい	ゼットソー4本、丸太切 り台3組	7月19日～ 7月24日	鈴鹿市河曲公民館
13	津市農林水産 部林業振興課	森のはたらきパネル1式	7月28日～ 7月31日	津市木材処理加工施設

14	森のせんせい	もりぼーる四角1式	8月4日～ 8月7日	ザ・オレンジガーデン 五十鈴川
15	森づくり活動 団体	ヘルメット20個、木工用 小刀10本、カッターナイ フ10本	8月25日～ 8月28日	津市白山町
16	森のせんせい	丸太切り台3組、治具7 枚、ゼットソーノコギリ 3本、木工用小刀7本	8月22日～ 8月24日	鈴鹿市
17	森のせんせい	尾鷲ヒノキ積木4組	8月16日～ 8月30日	みつよルーム及び津市 白塚公民館
18	森のせんせい	電熱ペン1本	8月31日～ 9月15日	みつよルーム
19	森のせんせい	もりぼーる四角1式、も くロック2袋	10月13日～ 10月16日	森のすみか木木市
20	森のせんせい	丸太切り台3組	10月6日～ 10月13日	鈴鹿市深谷公園
21	森のせんせい	ヘルメット27個	10月11日～ 10月18日	企業の森
22	農林水産部み どり共生推進 課	もりぼーる八角1式、フ ォトコンテスト入賞作品 8点、森のはたらきパネ ル1式	10月12日～ 10月16日	四日市ドーム 住まいと暮らしの総合 フェア2023
23	松阪農林事務 所	子どもフォレスターなり きりセット1式	10月27日～ 10月30日	企業の森
24	森のせんせい	森のはたらきパネル1式	10月26日～ 10月30日	津市白山町 まるごと林業体験
25	森づくり活動 団体	もりぼーる四角1式、四 方滑り台1式、ジョイン トマット36枚	12月1日～ 12月4日	伊賀オーガニックフェ スタ
26	森のせんせい	ヘルメット26個	11月16日～ 11月28日	社有林植樹祭
27	森のせんせい	ハンドマイク	11月15日～ 11月16日	労働災害集会

(3) 学校現場における森林教育の支援

① 森林教育出前授業(11回)

市町、学校、保育所等における森林教育を支援するため、学校等からの要望に応じ、指導者の紹介やプログラム提案等を行う、出前授業を 11 回計画しており、これまでに 10 回実施しました。

市町	開催場所	開催日	内容
桑名市	陽和幼稚園	11月9日(木)	・地域が自然豊かであることを知る。 ・五感を使いながら木の作品を作り、木に親しみを持つ。
桑名市	多度青葉小学校	11月21日(火)	・森のはたらきや林業について知る。 ・間伐の丸太切りや木工体験を通じ、間伐材の利用について考える。
桑名市	深谷教育集会所	8月30日(水)	・森林の役割りや、生活の中でどのように使われているかを知る。 ・木工体験を通じて、木に親しみ感じる。
桑名市	ひまわり学童クラブ	8月25日(金)	・森林のはたらき、役割を知る。 ・木のおもちゃで遊ぶ体験を通して、五感で木の質感を感じ、親しみを持つ。
四日市市	三重小学校	7月28日(金)	・木について学び考える。 ・木に触れ五感で感じ、木工体験を通して木に親しむ。
鈴鹿市	庄内小学校	12月15日(金)	・森林の公益的機能や木を使うことの意義などを知る。 ・地域材で箸をつくる。
松阪市	徳和住民自治協議会	8月28日(月)	・自然の大切さやすばらしさを、工作やネイチャーゲームなどを通じて実感する。
多気町	外城田小学校	7月7日(金)	・校庭にある樹木の観察を通して、樹木への関心を高める。
明和町	上御糸小学校	9月25日(月)	・上流の森が豊かだと、下流でおいしいお米が育つことなどから、森林のはたらきを学ぶ。
伊勢市	明倫小学校	1月12日(金) (予定)	・地域の森の形態や林業、森のはたらき、緑の循環などを学ぶ。 ・間伐材を使った木工体験から木の利用について考える。
伊賀市	伊賀つばさ学園	6月30日(金)	・木の名前や生態、森の中の様子を知り、命の循環がどのように行われているのかを学ぶ。 ・木工体験でフォークや木べらなどを制作する。



桑名市立多度青葉小学校



四日市市三重小学校

子どもたちの声

- ・間伐材の皮がきれいに剥けたり、水分をたくさん含んでいることに驚いた。(6月30日三重県立特別支援学校伊賀つばさ学園中等部)
- ・森がおいしい水をつくるということが分かった。(8月28日(月)徳和住民自治協議会)
- ・松ぼっくり、どんぐり、葉っぱなどを使って自分で考えて作るのが楽しかった。(8月25日ひまわり学童クラブ)
- ・山を豊かにするには、私にもできることがきっとあるはず。それを考えてみたいと思った。(9月25日(月)明和町立上御糸小学校)

学校関係者の声

- ・子どもたちが楽しめるようにクイズをしながらお話していただき、退屈せず話が聞けてよかった。(7月28日四日市市立三重小学校)
- ・深谷の太鼓作りという地域に関する話題にもふれながら森林の話をしていただけたのでよかった。(8月30日(水)深谷教育集会所)
- ・普段なかなか使うことのないのこぎりを親子で体験でき、とてもよかったです。また、木の種類や形によって切れ具合も違うことに気付いている子どもたくさんいてよい経験になりました。(11月9日桑名市立陽和幼稚園)

② 森林教育活動のコーディネート

森林教育活動を希望する市町、学校、保育所等において森林教育が実施されるよう、指導者の紹介やプログラム構築等のコーディネートを行っています。

(4) こども森の写真教室及びみえの森フォトコンテストの実施

① こども森の写真教室

カメラを通して森や自然のおもしろさや豊かさを発見してもらうことを目的に、8月5日(土)に小中学生とその家族を対象に「こども森の写真教室」を開催し、5組12名の親子が参加しました。

受講者の声

- ・ 屋内で説明があったあとに、屋外での写真撮影だったので、わかりやすかった。
- ・ 自然を観察でき、カメラの楽しさも伝わってきて、とてもよかったです。



座学の様子



屋外での実習の様子

② 第 10 回みえの森フォトコンテスト

写真撮影を通じて森林や木に親しみ、その大切さを知っていただくことを目的に、「三重の森林」をテーマにして「第 10 回みえの森フォトコンテスト」を開催しました。

(実施概要)

募集期間：令和 5 年 6 月 20 日(火)から 10 月 31 日(火)まで

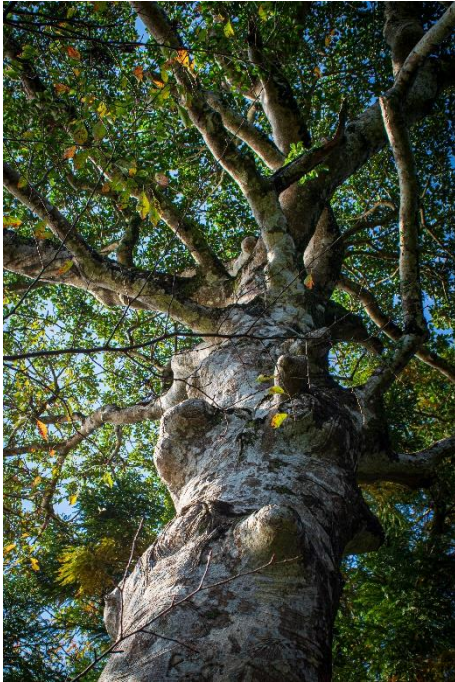
募集テーマ：三重の森林

応募資格：県内在住又は通学・通園（所）等している 18 歳以下の方

応募作品点数：総数 133 名 280 点

小学生以下の部 49 名 85 点

中学生以上の部 84 名 195 点



小学生以下の部 最優秀賞
松阪市立柿野小学校 6 年
橋本 英龍
「木でクライミングを！！」



中学生以上の部 最優秀賞
三重大学教育学部附属中学校 2 年
齋田 裕音
「新緑」

③ みえの森フォトコンテスト入賞作品展示

「三重の森林」をテーマに実施したみえの森フォトコンテストの入賞作品を、公共施設や商業施設などで展示し、子どもたちの視点で捉えた三重の森林の姿をたくさんの方に見ていただいています。

(5) 森づくり活動の支援

① 県民参加の植樹祭

広く県民に呼びかけ、森林を育む意識を醸成し、県民参加の森づくりを推進することを目的に、11月18日(土)に伊賀市の青山ハーモニー・フォレストにおいて、令和5年度県民参加の植樹祭『自然と人が調和する植樹祭 in 青山ハーモニー・フォレスト』を開催しました。

日時：令和5年11月18日(土)9:00 から

場所：青山ハーモニー・フォレスト（伊賀市）

内容：ソメイヨシノ 50本を植栽



記念植樹



一般植樹

② 森づくり活動支援講座

地域で森づくり活動をさらに活発化するため、安全・安心な活動に向けた森づくりに関する講習会を開催しました。

(実施概要)

参加人数：三重県内で森づくり活動をしている方 8名

【座学】 森林作業をする上での安全衛生講習

5月13日(土) 9:00～16:00 三重県林業研究所

【実技講習(刈払い機)】

5月14日(日) 9:00～12:00 三重県林業研究所

【実技講習(チェーンソー)】

5月14日(日) 13:00～16:00 三重県林業研究所



実技講習（刈払い機）



実技講習（チェーンソー）

（6）森林教育・森づくり活動に関する相談対応等

市町や学校、森林教育指導者（森のせんせい）等からの森林教育や森づくり活動に関する相談に随時対応し、活動のコーディネートや森林教育に関する情報収集、普及啓発を行っています。

（7）森林教育・森づくりに関する情報発信

① 森林活動活動事例集の発行

学校等において、森林教育の導入や取組の参考となるよう、県内で実施された森林教育活動の取組を取りまとめた事例集を作成し、県内小中学校や関係機関へ配布する準備をしています。

② 森林づくりニュースの発行

県内における森林教育や森づくり活動に関する季刊誌を4回、それぞれ2,000部発行し、市町や森林教育関係施設及び森のせんせいなどに配布するとともに、その内容をみえ森づくりサポートセンターのホームページに掲載しています。

③ ホームページやSNSを活用した情報発信

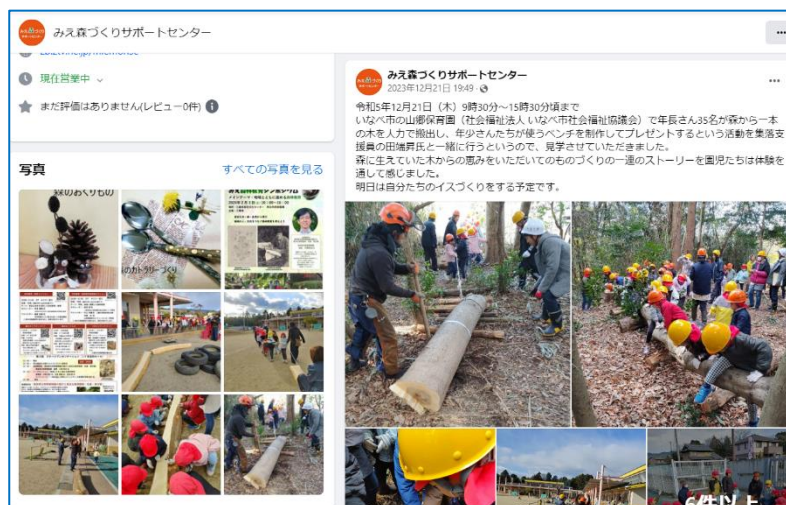
県内における森林教育や森づくり活動に関する情報や、この事業がみえ森と緑の県民税を活用して実施されていることを、みえ森づくりサポートセンターのホームページやフェイスブック、インスタグラムを活用して発信しています。



ホームページによる情報発信



Instagramを活用した情報発信



フェイスブックを活用した情報発信

④－ウ：みえ森林教育ステーション整備事業（中間報告）

担当課：林業研究所 普及・森林教育課

基本方針：②県民全体で森林を支える社会づくり

対策区分：④森と人をつなぐ学びの場づくり

1 事業の目的

県民の皆さんがいつでも利用できる森林教育の活動フィールドや木製遊具などが常設された施設を整備し、森林・林業、木材利用への理解を深め、意識の醸成を図ることで、「県民全体で森林を支える社会づくり」を推進します。

2 令和5年度事業の概要

三重県民の森みえ森林教育ステーションの適正な運営を行うとともに、定期的に森林教育にかかるイベント等を実施します。

また、森林教育ステーションの認定及び活用に向けた支援のほか、三重県林業研究所の野外フィールドを、森林教育活動フィールドとして整備します。

【具体的な取組】

- (1) 三重県民の森みえ森林教育ステーションの運営
- (2) みえ森林教育ステーションの認定と活用支援
 - ① みえ森林教育ステーションの認定
 - ② みえ森林教育ステーション活用に向けた支援
- (3) 三重県林業研究所における「みえ森林教育ステーション」の整備

(1) 三重県民の森みえ森林教育ステーションの運営

目的	三重県民の森みえ森林教育ステーションにおける森林教育や施設運営、安全管理を適切に行い、利用者に安心安全で快適な環境を提供し、より多くの利用者への森林・林業、木材利用への理解を深める森林教育を推進することを目的に、三重県民の森みえ森林教育ステーションを運営しています。
期間	令和5年4月1日から令和6年3月31日まで
場所	三重びよクエの森（三重県民の森）みえ森林教育ステーション
対象	未就学児とその保護者 利用者数：7,783名
内容	森林教育に関するイベントの開催 4月12日(水)春さんぽ：参加人数16名 4月14日(金)春さんぽ：参加人数12名 5月13日(土)押し花でメッセージカード作り：参加人数28名 6月25日(日)木の実クラフト：参加人数30名 7月12日(水)夏さんぽ：参加人数4名 7月29日(土)イモムシの絵本『へんしん』読み聞かせ：参加人数30名 9月12日(火)木の実クラフト：参加人数30名 11月19日(日)秋の絵本ライブ しんちゃんの読み聞かせ：参加人数79名 11月26日(日)どんぐりクッキー：参加人数21名 12月12日(火)クリスマス飾りをつくろう：参加人数20名 12月13日(水)クリスマス飾りをつくろう：参加人数32名

森林教育イベントの開催状況



4月：春さんぽ



7月：読み聞かせ会

(2) みえ森林教育ステーションの認定と活用支援

① 森林教育ステーションの認定

目的	県民の皆さんに森づくりの大切さや木材利用の意義を広く普及することを目的に、木製玩具や絵本などを通じて、親子で森林や木、木材の魅力に触れていただける常設型の森林教育施設を「みえ森林教育ステーション」に認定しています。
期間	令和5年4月～令和6年3月
対象施設	みえ森林教育ステーション認定要領第2条より (1) 県産材を使った遊具又は玩具を常設していること。 (2) 森林や木材に関する書籍や絵本について、未就学児から小学生までを対象に各年代に対応した書籍を10冊以上常設していること。 (3) 主に未就学児や児童、保護者等の複数名が日常的に利用できる空間（以下「森林教育空間」）が確保されていること。 (4) 森林教育空間の広さは、おおむね4㎡以上あり、木製の床であること。 (5) 常設の職員を配置し、森林教育活動を積極的に展開する意欲があること。 (6) 第5条の認定施設の管理者の責務の遂行が見込まれること。
認定状況	【令和5年度認定施設 6件（令和5年12月末現在）】 認定 No.015 むむむ。(尾鷲市) 認定 No.016 三重トヨペット株式会社グリーンテラス亀山店 認定 No.017 三重スバル自動車株式会社 四日市店 認定 No.018 三重スバル自動車株式会社松阪店 認定 No.019 津市芸濃子育て支援センター（げいのうわんぱーく） 認定 No.020 鈴鹿市子育て支援センターりんりん （認定手続き中）みえ尾鷲海洋深層水アクアステーション （認定手続き中）川越町つばめ児童館 （認定手続き中）川越町おひさま児童館 （認定手続き中）松阪市子育て支援センター ふれんず （認定手続き中）松阪市子育て支援センター 森のくまさん （認定手続き中）松阪市子育て支援センター げんきっこ （認定手続き中）松阪市子育て支援センター かんがるー （認定手続き中）松阪市子育て支援ルーム やまっこ （認定手続き中）度会町地域交流センター

令和 5 年度 認定施設



げいのうわんぱーく (津市)



三重トヨペット株式会社グリーンテラス亀山店

② 林教育ステーションの活用に向けた支援

目的	みえ森林教育ステーションの認定を受けようとする施設の整備に必要な物品の一部を支援しています。
期間	令和 5 年 4 月～令和 6 年 3 月
支援施設数	令和 5 年度支援数 6 施設 (令和 5 年 12 月末現在)
対象資材	みえ森林教育ステーション整備支援事業実施要領第 4 条より (1) 県産材の積み木 (※可能な限り地域産材とする。) 1 セット (2) 木製タイル 5 m ² 程度 (3) 木製玩具 (※5 点までとする。) (4) 森や木に関する書籍や絵本 10 冊程度

令和 5 年度に支援した森林教育関連物品の設置状況



むむむ。(尾鷲市)



鈴鹿市子育て支援センター りんりん

(3) 三重県林業研究所における「みえ森林教育ステーション」の整備

目的	みえ森林教育ビジョンに基づき、子どもから大人まで誰もが森林や木、木材に親しみ、自ら考え、判断して行動できる人に育つことを促す森林教育活動を展開するため、三重県林業研究所の樹木図鑑園及び緑化見本園をみえ森林教育ステーションとして整備します。
時期	令和6年3月
場所	三重県林業研究所 樹木図鑑園及び緑化見本園
内容	・令和4年度に実施した樹木図鑑園及び緑化見本園の現地調査を基に、森林教育に活用できるフィールドとして整備します。

⑤：生物多様性推進事業

担当課：みどり共生推進課

基本方針：②県民全体で森林を支える社会づくり

対策区分：⑤地域の身近な水や緑の環境づくり

1 事業の目的

活動団体や県民・事業者・行政などが連携して取り組む生物多様性の重要性に関する普及啓発や自然環境保全活動を推進し、県民みんなで森林生態系等の生物多様性の保全が図られる体制づくりを行うことで、森・川・海のつながりを意識した森林や緑、水辺環境を守り、生物多様性の保全を図ります。

2 事業の必要性

県では、これまで、地域の特性を踏まえた生物多様性の保全を進めるための地域戦略である「みえ生物多様性推進プラン」の取組方針に沿って、生物多様性に関する理解の促進を図るとともに、県民による地域の自然を守る保全活動など、地域と連携した取組を進めてきました。

その結果、自然環境の保全に取り組む活動団体数や希少種等の保全活動実施数が増加するなど、一定の成果が得られました。

一方で、近年、大規模な自然地の開発が増加しているほか、管理不足の里山の増加、外来生物の増加など、森林生態系の置かれている現況は依然として厳しい状況にあります。

そのため、これまでの取り組みをさらに進めるとともに、今後は様々な主体と協力しながら生物多様性の保全に取り組んでいく必要があります。

3 事業の内容

県内各地における自然環境に関する保全活動の活発化や開発事業に対する環境配慮の促進のためには、県民や事業者の生物多様性についての正しい理解が不可欠です。そのためには自然環境や野生動植物に関する情報やデータベースが必要であり、希少動植物の情報などを取りまとめた「三重県レッドデータブック2015」がその基礎資料として広く活用されています。しかし、この「三重県レッドデータブック2015」は発行から8年が経過しており、近年では森林及び里山地域での太陽光発電施設等の開発が増加していることから、内容に現状との乖離が生じていると思われます。レッドデータブックが将来にわたり基礎資料としての精度を維持していくには、野生動植物の生息状況の変化等を踏まえた一定期間ごとの見直しが必要です。

そこで、レッドデータブックの改訂に向けて、評価が必要な種の生息状況調査、”

絶滅のおそれ”の評価（レッドリスト作成）を行います。また、県民への生物多様性やレッドデータブックについての普及啓発のため、自然観察会等を行います。

引き続き、自然環境保全活動の支援として、自然環境保全団体への専門家派遣や合同での調査・保全活動を行います。

4 令和5年度生物多様性推進事業の進捗状況

(1) 野生生物の生息状況調査

生物多様性推進施策に必要な野生動植物種の基礎情報を把握するため、野生鳥類（ガン類、カモ類、ハクチョウ類、カワウ）の生息状況調査を実施します。（1月以降実施予定）

(2) 希少種評価対象リストの作成・調査

「三重県レッドデータブック2015」の改訂に向けて、業務委託により、評価対象種の生息状況調査、レッドリストの作成を進めています。

哺乳類調査対象種（全種）							
No.	和名	学名	三重県レッド2015	奈良県レッド2016	和歌山県レッド2022	滋賀県レッド2020	国レッド2020
1	シントウトガリネズミ	<i>Sorex shinto</i>	CR	CR+EN	—	DD	
2	カワネズミ	<i>Chinarrugia platycephalus</i>	VU	VU	VU	CR+EN	
3	ニホンジネズミ	<i>Crocidura dsinezumi</i>				DD	
4	ヒメヒメズ	<i>Dumecodon pilirostris</i>	VU	NT	CR+EN	—	
5	ヒメズ	<i>Trotrichus talpoides</i>					
6	ミスラモグラ	<i>Euroscaptor mizura</i>		NT	DD	CR+EN	NT
7	アズマモグラ	<i>Mogera imizumi</i>				NT	
8	コウベモグラ	<i>Mogera mogura</i>					
9	キタガシラコウモリ	<i>Rhinolophus ferrumequinum</i>		NT	NT	CR+EN	
10	コキタガシラコウモリ	<i>Rhinolophus cornutus</i>	NT	NT	NT	CR+EN	
11	ヤマコウモリ	<i>Nyctalus aviator</i>	DD	CR+EN	—	DD	VU
12	アブラコウモリ	<i>Pipistrellus abramus</i>	—	CR+EN	CR+EN	CR+EN	
13	モリアブラコウモリ	<i>Pipistrellus nindai</i>		VU	CR+EN	VU	
14	ニホンウサギコウモリ	<i>Plecotus sacrimontis</i>	VU	VU	CR+EN	DD	
15	カダヤコウモリ	<i>Myotis frater</i>	—	—	—	CR+EN	
16	ヒナコウモリ	<i>Vespertilio sinensis</i>	DD	VU	VU	CR+EN	
17	ヒメホオビゲコウモリ	<i>Myotis ikomikovi</i>	EN	CR+EN	—	—	LP
18	チモンゴコウモリ	<i>Myotis macrodactylus</i>	—	NT	NT	CR+EN	
19	ノレンコウモリ	<i>Myotis blythii</i>	YU	CR+EN	CR+EN	VU	VU
20	クロホオビゲコウモリ	<i>Myotis prainensis</i>	新記録	VU	CR+EN	CR+EN	VU
21	アゲコウモリ	<i>Murina hilgendorfi</i>	NT	VU	VU	CR+EN	
22	コチンゴコウモリ	<i>Murina ussurionis</i>	DD	CR+EN	DD	CR+EN	
23	ユビナゴコウモリ	<i>Miniopterus fuliginosus</i>	NT	NT	NT	CR+EN	
24	オビキコウモリ	<i>Tadarida insignis</i>	EN	—	—	DD	VU
25	ニホンザル	<i>Macaca fuscata</i>				DD	
26	ヤマネ	<i>Gilgulus japonicus</i>	NT	NT	NT	VU	
27	ヤマネズミ	<i>Eothenomys andersoni</i>	VU	NT	VU	—	
28	スミスネズミ	<i>Eothenomys smithi</i>			DD	重要種	
29	ハタネズミ	<i>Microtus montebelli</i>				NT	
30	カヤネズミ	<i>Microtus minutus</i>		NT	NT	NT	
31	アサネズミ	<i>Apodemus speciosus</i>					
32	ヒメネズミ	<i>Apodemus argentus</i>					
33	ドブネズミ	<i>Rattus norvegicus</i>					
34	クマネズミ	<i>Rattus rattus</i>					
35	ハツカネズミ	<i>Mus musculus</i>					
36	ヌートリア	<i>Myocastor coypus</i>					

図. 希少種評価対象リストの例

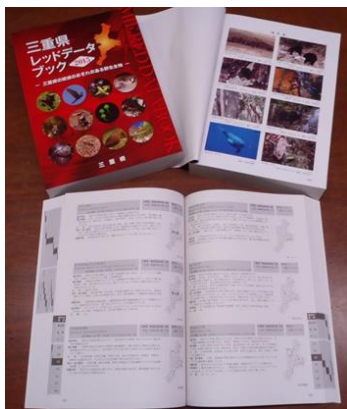


写真. 三重県レッドデータブック2015



写真. 篠立の風穴での調査の様子

(3) 自然環境保全活動の支援

生物多様性保全活動について、専門家の派遣を行うなどにより支援を行いました。(表1参照)

表1. 自然環境保全活動の実施状況

対 象 種	活 動 時 期	実 施 内 容
マメナシ	令和5年 4月	保全活動団体、専門家とともに調査および保全活動を行った。
ギフチョウ	令和5年 4月	保全活動団体とともに調査を行った。
マイヅルテンナンショウ	令和5年 6月	保全活動団体、専門家とともに調査を行った。
アゼオトギリ	令和5年 6月	保全活動団体、専門家とともに保全活動を行った。
ウシモツゴ	令和5年8 月	保全活動団体、専門家とともに調査および保全活動を行った。
ため池の外来種	令和5年 10月	保全活動団体とともに駆除活動を行った。



写真. 保全活動の実施状況 (ウシモツゴ)



写真. 捕獲されたウシモツゴ

森林とふれあう自然公園環境整備事業

令和 5 年 1 2 月末現在

1. 事業の目的

地域の活動団体や市町等と連携し、自然公園や森林公園を活用した森林教育のイベントやガイドツアーなどの推進と、自然公園や森林公園にある歩道等の施設整備を行うことにより、県民が森林や緑と親しむ機会を創出し、身近な緑や水辺の環境と県民との関係を深めます。

2. 令和 5 年度事業進捗

1) 森林にふれあう活動の推進

県民が森林とふれあう機会を増大するため、県内にある自然公園内の園地や歩道、森林公園を活用して自然観察ツアーや森林教育イベントを行い、豊かな生態系の観察や森林のはたらきを伝えると共に、一人ひとりが健やかな森林を次世代に引き継ぐ大切さを感じることができる「県民全体で森林を支える社会づくり」のための自然教育と施設整備を行いました。

◆ 自然公園・自然歩道での取組状況



自然観察ツアー

ウォーキングツアーの状況



自然観察ツアー

ツアーガイドからの説明状況



自然観察ツアー

サイクリングツアーの状況



自然観察ツアー

ツアーガイドからの説明状況



森林教育イベント（植樹体験）

参加者による植樹状況
（自然環境保全活動）



森林教育イベント（植樹体験）

参加者による植樹状況
（自然環境保全活動）

◆大杉谷登山歩道での取組状況



自然観察ツアー&ボランティア整備
ガイドからの説明状況（森林教育）



自然観察ツアー&ボランティア整備
ガイドからの説明状況（森林教育）



自然観察ツアー&ボランティア整備
参加者による歩道の整備状況



自然観察ツアー&ボランティア整備
参加者によるゴミ拾い作業状況
（自然環境保全活動）

森林教育実績及び予定					令和5年12月末日 現在
自然公園名	自然公園施設名	実施場所	実施日	参加人数	内容
伊勢志摩国立公園	近畿自然歩道	伊勢市	6月10日	6名	自然観察と文化歴史ツアー（斎宮への道）
伊勢志摩国立公園	近畿自然歩道	南伊勢町	7月15日	7名	自然観察ツアー（南伊勢町南海展望台ウォーキング）
伊勢志摩国立公園	近畿自然歩道	伊勢市	9月16日	11名	自然観察ツアー（二見音無山と神前海岸ウォーキング）
伊勢志摩国立公園	近畿自然歩道	鳥羽市	10月9日	12名	自然観察ツアー（答志島ウォーキング）海女さんふれあい体験ツアー
伊勢志摩国立公園	近畿自然歩道	鳥羽市	10月21日	11名	自然観察ツアー（神島ウォーキング）潮騒の舞台と自然観察
伊勢志摩国立公園	近畿自然歩道	鳥羽市、志摩市	11月11日	5名	自然観察ツアー（鳥羽市青峯山ウォーキング）
伊勢志摩国立公園	近畿自然歩道	鳥羽市	11月18日	6名	森林教育イベント（クラフト体験教室）
伊勢志摩国立公園	近畿自然歩道	鳥羽市	11月19日	18名	森林教育イベント（クラフト体験教室）
伊勢志摩国立公園	近畿自然歩道	志摩市	11月26日	2名	自然観察ツアー（浜島ウォーキング）
伊勢志摩国立公園	近畿自然歩道	南伊勢町	12月10日	11名	自然観察ツアー（南伊勢町鶺倉半島ウォーキング）
伊勢志摩国立公園	近畿自然歩道	志摩市	（予定） 1月7日	（見込） 10名程度	自然観察ツアー（安乗崎灯台ウォーキング）
伊勢志摩国立公園	近畿自然歩道	伊勢市	（予定） 2月3日	（見込） 10名程度	自然観察ツアー（神宮への道 桜の渡しウォーキング）
吉野熊野国立公園	大杉谷登山歩道	大台町	7月15日	7名	自然観察ツアー（トレッキング）
〃	〃	〃	10月17日～18日	7名	自然観察ツアーとボランティア整備（歩道整備とごみ拾い）
鈴鹿国定公園	御在所岳園地	菟野町	9月16日	41名	森林教育イベント（植樹体験：自然環境保全活動）
吉野熊野国立公園 奥伊勢宮川峡県立自然公園	大杉谷登山歩道 大杉谷自然の家	大台町	11月26日	18名	森林教育イベント（森林と水のサイクリングツアー）

3. 『みえ森と緑の県民税』による取り組みであることの周知方法

- ・自然観察ツアーや森林教育イベント（以下、イベントという。）の募集チラシや自然公園内での活動ポスター等に、『みえ森と緑の県民税』を活用していることが分かるように周知を行っています。
- ・イベントの参加者に対して、『みえ森と緑の県民税』のパンフレットなどの配布を行い、開催時の最初に参加者に対して、『みえ森と緑の県民税』の目的や認知度確認、並びに参加しているイベントが『みえ森と緑の県民税』の取り組みのひとつであることの周知を行っています。
- ・イベント開催中は、『みえ森と緑の県民税』によるイベントであることが分かるように『のぼり旗』を設置し、イベント参加者以外の方々にもPRを行っています。
- ・植樹活動などが行われた箇所には、『みえ森と緑の県民税』を活用して行われたことが分かるように看板などを設置しています。
- ・ホームページやSNSなどを活用してイベントの状況を掲載しています。

◆ イベント開催募集チラシでの周知状況

サイクリングツアー in 大杉谷

2023/11/26 (日) 10:00~15:30

※申し込みは10月26日(日)に締め切ります。

参加費：小学生とその保護者(大人1人) 小学生は4年生以上参加可能
参加費：10名20名(先着順)
参加費：100円/人(後払い)

申し込み方法について
大杉谷町民センター(〒270-0201)または大杉谷町民センター(〒270-0201)にて申し込みください。

お申し込み先：みえ森と緑の県民税

～近畿自然街道をたどる～ 大杉谷の聖地ハートの入り江をめぐ

南伊勢ウォーキング

募集要項には「お杉さん」「お杉さん」の愛称がつけられたお杉さんウォーキングがあります。中でも見立集落にはハートの入り江をめぐるといったコースがあります。また、お杉さんウォーキングにはお杉さんの愛称がつけられたお杉さんウォーキングがあります。

募集要項には「お杉さん」「お杉さん」の愛称がつけられたお杉さんウォーキングがあります。中でも見立集落にはハートの入り江をめぐるといったコースがあります。また、お杉さんウォーキングにはお杉さんの愛称がつけられたお杉さんウォーキングがあります。

募集要項には「お杉さん」「お杉さん」の愛称がつけられたお杉さんウォーキングがあります。中でも見立集落にはハートの入り江をめぐるといったコースがあります。また、お杉さんウォーキングにはお杉さんの愛称がつけられたお杉さんウォーキングがあります。

チラシでの周知状況

活動目的やロゴマークなどを記載

◆ イベント開催中での周知状況



イベント開催中での周知状況

「みえ森と緑の県民税」のぼり旗の設置

◆ 施設整備を行った箇所の周知状況



自然環境保全活動を行った箇所の周知状況

「みえ森と緑の県民税」の看板を設置

◆ ホームページ、SNS による周知状況



ホームページ、SNS による周知状況

SNS による周知状況

(大杉谷登山センターインスタグラム、
大杉谷自然学校 HP より)

活動紹介

11月26日(日)【森林と水のサイクリングツアーin大杉谷】を開催しました。

2023.12.18

去年の好評を頂き、今年も三重県森林とふれあう自然公園環境整備委員会として、11月26日(日)に【森林と水のサイクリングツアーin大杉谷】を開催しました。本イベントは「みえ森と緑の県民税」を活用して実施しましたので、「みえ森と緑の県民税」について知ってもらえたらいいなと思います🍎🍌「みえ森と緑の県民税」とは、「災害に強い森林づくり」のほかに、森林環境教育のような「森林を支える社会づくり」に取り組み、三重県の森林づくりに役立つ基金です。

イベント当日の午前中は大杉谷登山センターを出発し、新大杉谷橋を渡り、六十尋滝を經由し、大杉谷登山口まで自転車で行きました。お昼は宮川の源流を眺めながら、地元の主婦の会、せせらぎ会が作ってくれた竹皮弁当をいただきました。



流域防災機能強化対策事業

流域の防災機能を強化するため、面的な森林整備に県と市町が連携して取り組むことで、森林が有する土砂流出防止等の公益的機能の高度発揮を図り、「災害に強い森林づくり」を推進します。

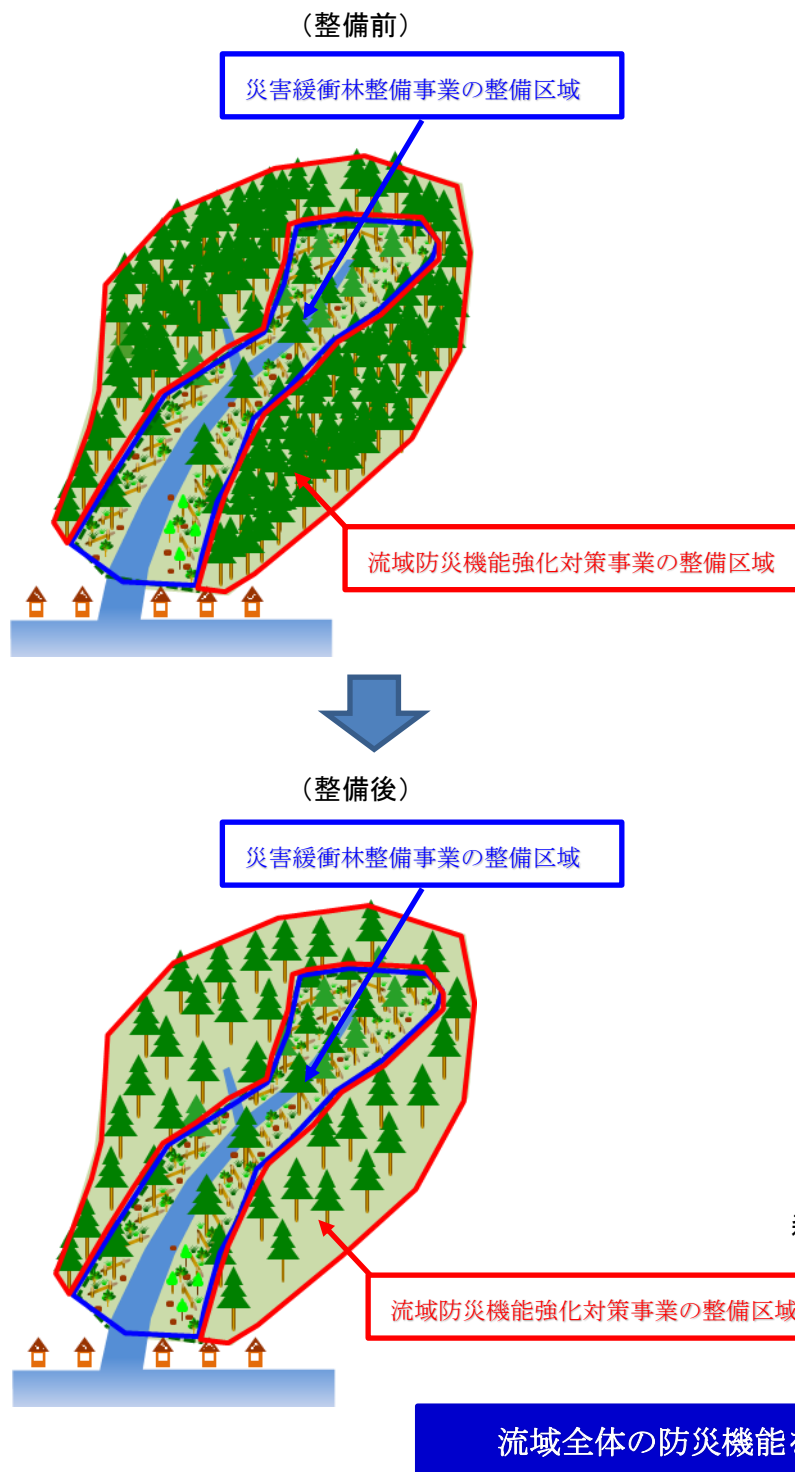
<事業対象区域>

県が実施する災害緩衝林整備事業の整備範囲の森林と一体的に整備する区域、環境林、特定水源地域

<事業の内容>

県が行う災害緩衝林整備事業に準じた森林整備

<整備のイメージ>



整備前のイメージ
根系や下層植生の発達が不十分



整備後のイメージ
森林整備の実施により、根系や下層植生が発達

森林再生力強化対策事業

流域の防災機能を強化するため、獣害対策に県と市町が連携して取り組むことで、森林が有する土砂流出防止等の公益的機能の高度発揮を図り、「災害に強い森林づくり」を推進します。

獣害防止施設等整備

<事業の内容>

○市町村森林整備計画において指定された鳥獣害防止森林区域内において、森林所有者等が行う獣害防止施設等の設置や補修に対して支援

○支援した箇所においては、森林所有者等が施設の定期的な点検や更新状況の確認を実施



防護柵設置のイメージ

的確な獣害防止対策の実施

ニホンジカの捕獲等

<事業の内容>

○鳥獣害防止森林区域内における獣害防止施設等の整備箇所周辺において、ICT等の新たな技術を用いた捕獲をモデル的に実施する市町に対して支援

○市町は、ICT等の新たな技術を用いることによる見回り作業の省力化や効果的な捕獲に関する検証を実施



捕獲のイメージ
自動撮影カメラによる遠隔監視

効果的な捕獲による被害軽減

植栽地の確実な更新

令和5年度 みえ森と緑の県民税市町交付金事業(連携枠)の進捗状況

R5.12.31現在

市町	流域防災機能強化対策事業		森林再生力強化対策事業 (獣害防止施設等整備)		森林再生力強化対策事業 (ニホンジカの捕獲等)	
	事業量 (計画)	進捗	事業量 (計画)	進捗	事業量 (計画)	進捗
津市	80.00ha	実施中 未契約70.00ha 契約済10.00ha	6,999m	実施中 補助済6,999m		
松阪市	12.57ha	実施中 契約済12.57ha	11,969m	実施中		
多気町	13.67ha	実施中 契約済13.67ha	1,306m	実施中		
大台町	130.56ha	実施中 契約済130.56ha	6,848m	実施中		
度会町	30.50ha	実施中 未契約20.26ha 契約済10.24ha				
大紀町	14.00ha	契約済14.00ha	1,230m	実施中		
志摩市	8.13ha	実施中 契約済8.13ha				
伊賀市	126.85ha	実施中 契約済126.85ha				
名張市	8.50ha	実施中 契約済8.50ha				
紀北町	14.69ha	実施中 契約済14.69ha	3,745m	実施中 補助済1,177m		
熊野市	7.10ha	実施中	4,258m	実施中		
紀宝町	4.00ha	実施中				
計	450.57ha	契約済349.21ha	36,355m	補助済8,176m		

令和5年度流域防災機能強化対策事業 実施状況

多気町

整備前

整備後



令和5年度流域防災機能強化対策事業 実施状況

名張市

整備前

整備後



令和5年度森林再生力強化対策事業 実施状況

松阪市

獣害防止施設設置状況



獣害防止施設設置状況



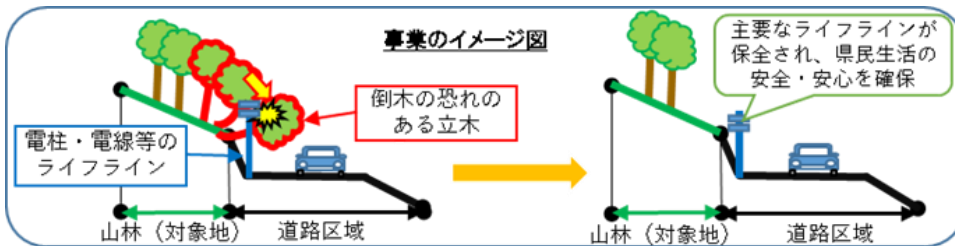
災害からライフラインを守る事前伐採事業

<事業の目的>

台風などの倒木被害によりライフラインを寸断する恐れのある樹木の事前伐採に取り組むことで、県民の安全・安心な生活環境を守る森林づくりを推進します。

<事業の対象>

- 森林法第2条に定義する森林
- 台風等の倒木被害により、ライフラインを寸断させる恐れのある樹木



配電線の倒木被害例

<事業の内容>

ライフライン事業者、市町及び県が連携して、台風などの倒木被害によりライフラインを寸断する恐れのある樹木の事前伐採に取り組む事業

- 伐採調査：事業の対象となる箇所において、伐採施工前に実施する調査等
 - ア 伐採施工範囲や伐採本数にかかる現地調査
 - イ 伐採対象木の所有者の明確化及び承諾交渉
 - ウ 図面及び設計根拠資料の作成
 - エ その他、知事が必要と認めた事項
- 伐採施工：事業の対象となる箇所における以下の作業
 - ア 台風等の倒木被害により、ライフラインを寸断する恐れのある樹木等の伐採・除去
 - イ 伐採木の造材・集積及び処理
 - ウ 伐採後の植栽及び獣害防止施設等の整備
(ただし、樹高等によりライフラインに影響を与えない樹種に限る)



事業実施前



事業実施後

令和5年度 みえ森と緑の県民税市町交付金事業（防災枠）の進捗状況

R5.12.31現在

市町	事業量 (見込み)	事業費(円)	内防災枠(円)	進捗
四日市市	151本	13,000,000	3,250,000	三者協定済 実施中
鈴鹿市	43本	3,589,300	897,325	三者協定済 事業完了
菰野町	20本	1,600,000	400,000	三者協定済 実施中
津市	137本	10,190,278	2,547,569	三者協定済 実施中
松阪市	1,000本	20,200,000	5,000,000	三者協定済 実施中
多気町	114本	2,887,500	700,000	三者協定済 事業完了
大台町	741本	29,000,000	7,250,000	三者協定済 実施中
鳥羽市	80本	4,400,000	1,100,000	三者協定済 実施中
度会町	525本	3,904,367	976,000	三者協定済 事業完了
名張市	300本	4,000,000	1,000,000	三者協定済 実施中
計	3,111本	92,771,445	23,120,894	

令和5年度災害からライフラインを守る事前伐採 実施状況

鈴鹿市

実施前



実施後



度会町

実施前



実施後



令和5年度災害からライフラインを守る事前伐採 実施状況

大台町

実施前

実施後



県民税PR(インスタグラム 度会町)

県民税PR(事業実施中 多気町)



⑦ーウ みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業

担当課：みどり共生推進課

基本方針：1、2

対策区分：1、2、3、4、5

1 事業の目的

森林所有者や事業者、森林づくりに取り組む団体等と主体的に接点を持ちながらパートナーシップを築き、地域の森林づくりのリード役となる市町が、市町交付金を活用することで、地域の実情に応じて創意工夫して森林づくり等の施策を展開します。

2 事業概要

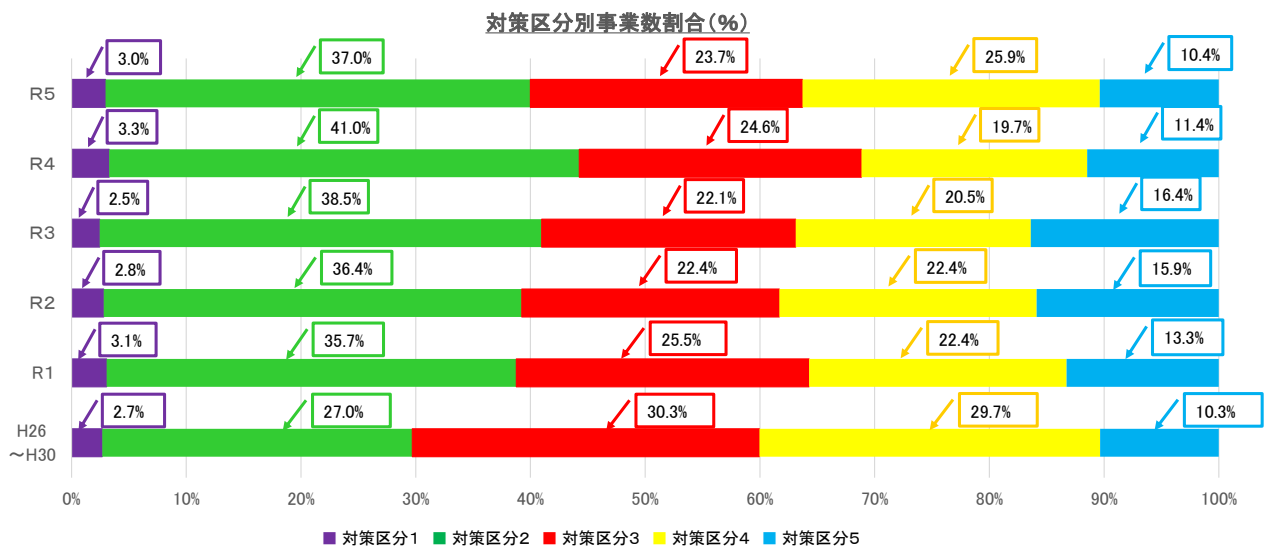
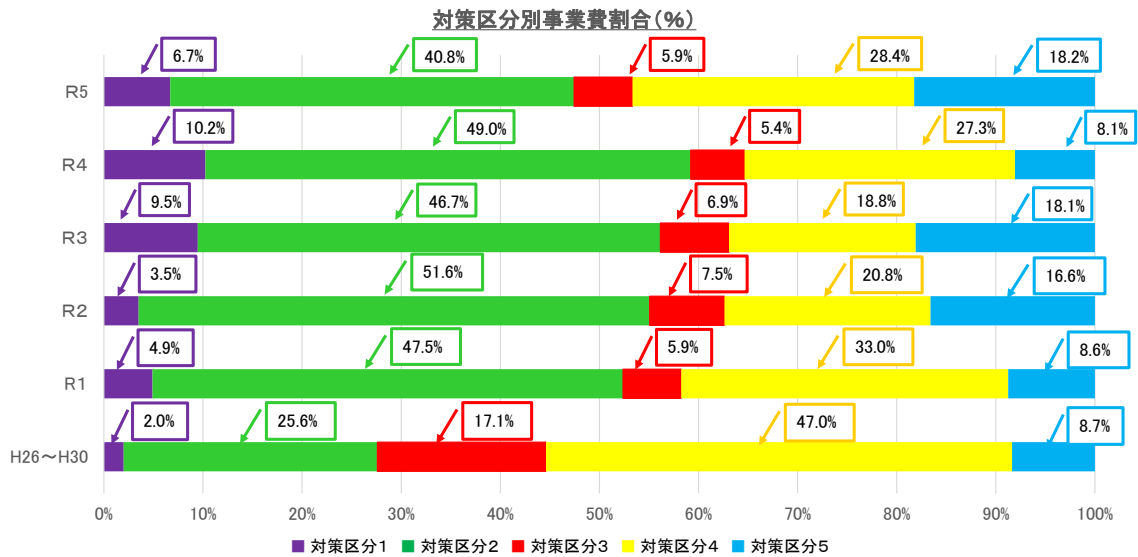
1市町当たり500万円の均等配分と、森林面積配分、人口配分の3つの配分方法を組み合わせた「基本枠交付金」と、森林面積が100ha未満または森林率が10%未満である市町からの申請に基づき、5年間の累計申請上限額1,000万円とする「加算枠交付金」を交付します。

この交付金を財源に、市町は、事業実施の3原則を満たし、森林環境譲与税と目的・用途を区分したうえで、森林づくり等の施策を展開します。

令和5年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業

みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 対策区別一覧（基金活用額を含む）

対策区分	対策内容	活用額（円）						事業数（事業）					
		H26～H30	R 1	R 2	R 3	R 4	R 5	H26～H30	R 1	R 2	R 3	R 4	R 5
1	土砂や流木を出さない森林づくり	49,866,157	17,001,600	9,977,537	31,152,636	42,972,389	34,281,000	14	3	3	3	4	4
2	暮らしに身近な森林づくり	635,878,895	164,386,151	146,755,195	153,531,279	205,267,004	208,569,300	141	35	39	47	50	50
3	森を育む人づくり	423,275,715	20,339,323	21,463,756	22,786,619	22,777,092	30,137,060	158	25	24	27	30	32
4	森と人をつなぐ学びの場づくり	1,168,678,649	114,201,787	59,197,482	61,959,298	114,357,591	145,448,341	155	22	24	25	24	35
5	地域の身近な水や緑の環境づくり	207,975,329	30,293,430	47,207,723	59,477,795	33,807,500	93,323,667	54	13	17	20	14	14
合計		2,485,674,745	346,222,291	284,601,693	328,907,627	419,181,576	511,759,368	522	98	107	122	122	135



令和5年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 市町別一覧

【四日市市】

対策区分	市町事業名	当年度交付額 (円)	基金活用額 (円)	事業内容	進捗状況
2	都市公園危険木処理事業	5,000,000		市が実施する、都市公園の危険木の伐採等	実施中
2	危険木等除去支援事業	1,000,000		自治会等が実施する、道路沿いの危険木の伐採等に対する支援	実施中
2	里山・竹林環境保全支援事業	3,000,000		自治会等が実施する、里山や竹林の整備に対する支援	実施中
2	災害からライフラインを守る事前伐採事業	3,250,000		市が実施する、倒木被害により電力などのライフラインを寸断する恐れのある樹木の事前伐採	実施中
4	市民活動センター運営事業	4,987,000		市が実施する、市民センターへの木製備品（下足棚等）の導入	実施中
4	一般備品整備事業（小学校）	1,044,000	8,460,000	市が実施する、小学校図書室への木製備品（机、椅子）の導入	実施中
4	一般備品整備事業（中学校）	5,620,000	348,691	市が実施する、中学校図書室への木製備品（机、椅子）の導入	実施中
四日市市計		23,901,000	8,808,691		

【桑名市】

対策区分	市町事業名	当年度交付額 (円)	基金活用額 (円)	事業内容	進捗状況
5	播磨2号緑地里山整備事業	534,000		市が実施する、里山の散策路整備等	実施中
5	多度山ハイキングコース安全性・快適性向上事業	11,644,000	29,184,959	市が実施する、多度山ハイキングコースの整備	実施中
桑名市計		12,178,000	29,184,959		

【鈴鹿市】

対策区分	市町事業名	当年度交付額 (円)	基金活用額 (円)	事業内容	進捗状況
2	暮らしを守る森林保全事業	1,170,000		市が実施する、海岸林や人家周辺の病虫害被害木の伐採と樹幹注入	実施中
2	災害からライフラインを守る事前伐採事業	966,000		市が実施する、倒木被害により電力などのライフラインを寸断する恐れのある樹木の事前伐採	完了
3	森林環境教育支援事業	200,000		市民団体が実施する、森林教育活動への支援	未着手
3	緑に親しむ記念樹贈呈事業	539,000		市が実施する、植木まつり会場での記念樹配布とアンケート調査	完了
3	森と緑の生涯学習講座	770,000		市が実施する、公民館での「森と緑の生涯学習講座」の開催	実施中
3	里山保全ボランティア育成事業	300,000		市が実施する、里山保全を担う人材の育成	実施中
4	公立保育所及び公立幼稚園等設置及び木育推進事業		14,960,600	市が実施する、保育所や幼稚園への木製備品（下駄箱、棚）の導入	実施中
4	子育て支援センターりんりん木製玩具及び木製備品設置事業	4,834,000	1,290,000	市が実施する、子育て支援センターへの木製玩具や木製備品の導入	実施中
4	児童センター等木製品設置及び森林環境教育推進事業	4,730,000		市が実施する、児童センターへの木製玩具・遊具や木製備品の導入と木工教室の開催	実施中
5	ふるさとの木（名木古木）保存活用事業補助事業	2,680,000		地域が実施する、天然記念物や地域緑化のシンボルとなっている樹木の診断及び治療等に対する支援	実施中
5	緑と人を育む 長太の大楠再生プロジェクト	1,320,000		市が実施する、地域緑化のシンボルツリーである長太の大楠の治療等	実施中
鈴鹿市計		17,509,000	16,250,600		

【亀山市】

対策区分	市町事業名	当年度交付額 (円)	基金活用額 (円)	事業内容	進捗状況
2	集落周辺の森林整備事業（危険木等の伐採）	2,000,000		市が実施する、公共施設周辺や道路上の危険木の伐採等	実施中
3	森と木材のふれあい事業（森の講座）	281,000	919,000	市が実施する、森の講座の開催	完了
3	森と木材のふれあい事業（森林づくり協議会）	1,000,000		協議会が実施する、イベントや講座の開催に対する支援	実施中
4	森と木材のふれあい事業（木とふれあう）	1,968,000	1,000	市が実施する、幼稚園・保育園等における木製遊具の組立イベントと木製遊具の導入	実施中
4	森林環境教育・木育が行える場の整備事業（森林公園やまびこ）	500,000		市が実施する、森林公園の八橋の補修	完了
4	森林環境教育・木育が行える場の整備事業（総合保健福祉センターあいあい）	3,000,000		市が実施する、総合保健福祉センター広場への東屋とベンチの設置	実施中
4	森林環境教育・木育が行える場の整備事業（亀山幼稚園、井田川幼稚園、みずほ台幼稚園）	2,700,000		市が実施する、幼稚園への木製キッズハウスの設置	完了
亀山市計		11,449,000	920,000		

【いなべ市】

対策区分	市町事業名	当年度交付額 (円)	基金活用額 (円)	事業内容	進捗状況
2	危険木の除去事業	3,784,000		自治会が実施する、人家裏や通学路沿いの危険木の伐採等への支援	実施中
2	里山竹林環境保全支援事業	3,500,000		活動団体等が自主的に実施する、里山や竹林整備に対する支援	実施中
2	鳥獣害につよ森林整備事業	2,000,000		市が実施する、町獣害防止を目的とした森林整備	実施中
3	中学校卒業記念品配布事業	917,950		市が実施する、市産材で作成した記念品（箸）の中学校卒業生への配布	実施中
3	森林環境教育支援事業	200,000		市が実施する、小学生を対象とした森林教育	実施中
5	自然環境保全事業	792,050		市が実施する、自然環境保全に向けた教室の開催	実施中
いなべ市計		11,194,000	0		

【木曽岬町】

対策区分	市町事業名	当年度交付額 (円)	基金活用額 (円)	事業内容	進捗状況
3	森林環境教育事業	1,182,450		町が実施する、中学生を対象とした自然体験学習	完了
2	暮らしを守る緑保全事業	4,184,550	3,573,298	町が実施する、クビアカツヤカミキリによる被害から桜並木を保全するための取組	実施中
木曽岬町計		5,367,000	3,573,298		

【東員町】

対策区分	市町事業名	当年度交付額 (円)	基金活用額 (円)	事業内容	進捗状況
2	危険木伐倒等業務	10,600,000	1,420,000	町が実施する、人家裏や通学路沿いの危険木の伐採等	実施中
3	森林教育授業	85,000		町が実施する、小学生を対象とした森林教育	完了
4	公共施設等の備品等購入	350,000		町が実施する、公共施設等への木製備品の導入	完了
東員町計		11,035,000	1,420,000		

【菰野町】

対策区分	市町事業名	当年度交付額 (円)	基金活用額 (円)	事業内容	進捗状況
2	病虫害被害木伐採搬出事業		4,000,000	土地所有者等が実施する、病虫害による被害木の伐採等への支援	実施中
2	危険樹木伐採事業	400,000		町が実施する、倒木被害により電力などのライフラインを寸断する恐れのある樹木の事前伐採	未着手
2	シデコブシ群生地周辺林地整備	5,037,775		町が実施する、シデコブシ群生地周辺での森林整備	実施中
4	幼児期から木に親しむ木育推進事業	519,225	1,580,775	町が実施する、幼保園における木製遊具の導入	実施中
4	保育所等木製遊具購入補助事業	3,000,000		市立保育所が実施する、木製遊具の導入への支援	実施中
菰野町計		8,957,000	5,580,775		

【朝日町】

対策区分	市町事業名	当年度交付額 (円)	基金活用額 (円)	事業内容	進捗状況
2	里山・竹林環境保全支援事業（あさひ竹プロジェクト）	650,000		活動団体が実施する、里山や竹林整備に対する支援	実施中
3	森林環境教育事業（あさひ竹プロジェクト）	3,202,000	142,000	町が実施する、竹を活用したさまざまなイベントの開催	実施中
4	森と緑とふれあう環境づくり事業（幼保一体化施設）	1,800,000		町が実施する、幼保一体化施設の芝生の維持管理	実施中
5	教育文化施設ビオトープ再生整備事業	10,000,000	3,060,892	町が実施する、教育文化施設内におけるビオトープの再生整備	実施中
朝日町計		15,652,000	3,202,892		

【川越町】

対策区分	市町事業名	当年度交付額 (円)	基金活用額 (円)	事業内容	進捗状況
3	川越中学校自然教室	1,356,000		町が実施する、川越中学校の1年生を対象とした自然教室	完了
3	川越北小学校自然教室	665,000		町が実施する、川越北小学校の5年生を対象とした自然教室	完了
3	川越南小学校自然教室	492,000		町が実施する、川越南小学校の5年生を対象とした自然教室	完了
4	川越北小学校図書室棚購入	891,000		町が実施する、小学校の図書室への木製書架の導入	完了
4	川越町ボランティア施設（仮称）建設工事	2,461,000		町が実施する、ボランティア施設の一部木質化	実施中
川越町計		5,865,000	0		

【津市】

対策区分	市町事業名	当年度交付額 (円)	基金活用額 (円)	事業内容	進捗状況
1	津市林地残材搬出促進事業	27,761,000		事業者等が実施する、未利用間伐材の搬出に対する支援	実施中
2	災害からライフラインを守る事前伐採事業	3,000,000		市が実施する、倒木被害により電力などのライフラインを寸断する恐れのある樹木の事前伐採	実施中
3	津市森林環境教育事業	500,000		市が実施する、「夏休み森と緑の親子塾」と「まるごと林業体験」の開催	完了
3	美里水源の森「林業体験」事業	250,000		地元協議会が実施する、美里水源の森における林業体験への支援	実施中
4	子育て支援センターにおける木育環境整備事業	453,000		市が実施する、子育て支援施設における木製遊具等の導入	完了
4	コミュニティ施設における木育環境整備事業	1,564,000		市が実施する、コミュニティ施設の内装木質化	実施中
津市計		33,528,000	0		

【松阪市】

対策区分	市町事業名	当年度交付額 (円)	基金活用額 (円)	事業内容	進捗状況
2	里山の森林安全安心対策事業	12,691,000		市が実施する、集落や公共施設周辺の危険木の伐採等	実施中
2	災害からライフラインを守る事前伐採事業	5,000,000		市が実施する、倒木被害により電力などのライフラインを寸断する恐れのある樹木の事前伐採	実施中
3	森林環境学習事業	2,900,000		市が実施する、小学生の一部木質化と森林教育活動	完了
3	松阪の木魅力発信活動事業	300,000		活動団体が実施する、高校での森林教育と木工製品作製への支援	実施中
4	保育園木育推進事業	2,000,000		市が実施する、保育園における木製備品の導入と木育絵本の読み聞かせ	実施中
5	都市公園整備事業	4,000,000		市が実施する、都市公園内への東屋の設置	実施中
松阪市計		26,891,000	0		

【多気町】

対策区分	市町事業名	当年度交付額 (円)	基金活用額 (円)	事業内容	進捗状況
2	里山環境保全支援事業	97,000		自治会等が実施する、里山の整備に対する支援	実施中
2	災害からライフラインを守る事前伐採事業	700,000		町が実施する、倒木被害により電力などのライフラインを寸断する恐れのある樹木の事前伐採	完了
3	木とふれあう教育支援事業	375,000		町が実施する、小学校における木工体験と森林教育	実施中
4	木とふれあう環境づくり事業	6,463,000	3,979,800	町が実施する、小学校や保育園などへの木製備品の導入	実施中
多気町計		7,635,000	3,979,800		

【明和町】

対策区分	市町事業名	当年度交付額 (円)	基金活用額 (円)	事業内容	進捗状況
2	松林整備事業	1,300,000		町が実施する、海岸沿いの松林における病害虫被害木の伐採等	実施中
2	危険木除去事業	600,000		町が実施する、集落周辺の危険木の伐採	実施中
4	学校木製備品購入事業	4,512,000		町が実施する、小学校における木製机・椅子の導入	実施中
4	木製ブース設置事業	800,000		町が実施する、イベント等で使用する木製ブースの導入	完了
5	木造施設設置事業	1,700,000		町が実施する、手洗い場の整備	実施中
明和町計		8,912,000	0		

【大台町】

対策区分	市町事業名	当年度交付額 (円)	基金活用額 (円)	事業内容	進捗状況
2	災害からライフラインを守る事前伐採事業	7,250,000		町が実施する、倒木被害により電力などのライフラインを寸断する恐れのある樹木の事前伐採	実施中
2	集落周辺等危険木伐採事業	5,610,000		町が実施する、集落周辺や人家裏の危険木の伐採等	完了
3	森林環境教育事業	1,100,000		町が実施する、地元高校生によるキノコ栽培の体験学習や森林利用に関して学ぶ機会の創出	実施中
大台町計		13,960,000	0		

【伊勢市】

対策区分	市町事業名	当年度交付額 (円)	基金活用額 (円)	事業内容	進捗状況
2	森林整備事業	15,658,000	726,000	市が実施する、海岸沿いの松林における病害虫被害木の伐採、地上散布、樹幹注入等	実施中
2	危険木伐採事業		1,875,835	市が実施する、人家周辺等の危険木伐採	未着手
伊勢市計		15,658,000	2,601,835		

【鳥羽市】

対策区分	市町事業名	当年度交付額 (円)	基金活用額 (円)	事業内容	進捗状況
2	危険木伐採事業	3,842,000	1,518,100	市が実施する、市民生活に支障をきたす恐れがある危険木の伐採	実施中
2	危険木伐採事業費補助金事業	4,500,000	150,000	自治会等が実施する、危険木の伐採に対する支援	実施中
2	災害からライフラインを守る事前伐採事業		1,000,000	市が実施する、倒木被害により電力などのライフラインを寸断する恐れのある樹木の事前伐採	実施中
鳥羽市計		8,342,000	2,668,100		

【志摩市】

対策区分	市町事業名	当年度交付額 (円)	基金活用額 (円)	事業内容	進捗状況
2	災害に強い森林づくり事業	6,491,000		市が実施する、道路沿いの危険木の伐採	実施中
2	松くい虫防除事業	628,000		市が実施する、松林公園や景勝地の松枯れや蔓延を防ぐための被害木伐採等	実施中
3	森と緑ふれあい事業	470,000		市が実施する、森林体験学習	実施中
4	阿児ふるさと公園 東屋設置事業	3,000,000		市が実施する、阿児ふるさと公園で東屋の設置	実施中
志摩市計		10,589,000	0		

【玉城町】

対策区分	市町事業名	当年度交付額 (円)	基金活用額 (円)	事業内容	進捗状況
3	森林環境教育・木育事業	506,000		町が実施する、保育所や小学校での森林教育	実施中
4	公共施設整備事業	1,931,000	3,719,000	町が実施する、小学校図書室の内装木質化	完了
4	公共施設用備品整備事業	3,838,000		町が実施する、公共施設における木製品の導入	実施中
玉城町計		6,275,000	3,719,000		

【度会町】

対策区分	市町事業名	当年度交付額 (円)	基金活用額 (円)	事業内容	進捗状況
1	流倒木撤去事業	990,000		町が実施する、溪流沿いの流倒木の伐採・除去	未着手
2	危険木伐採事業	265,000	1,086,000	町が実施する、生活道路及び通学路沿いの危険木の伐採	実施中
2	災害からライフラインを守る事前伐採事業	1,000,000		町が実施する、倒木被害により電力などのライフラインを寸断する恐れのある樹木の事前伐採	完了
3	森林環境教育推進事業	806,000		町が実施する、森林教育の実施	実施中
4	県産材を活用した木製備品整備事業	5,852,000		町が実施する、保育所等への木製備品の導入	実施中
度会町計		8,913,000	1,086,000		

【大紀町】

対策区分	市町事業名	当年度交付額 (円)	基金活用額 (円)	事業内容	進捗状況
1	溪流倒木等処理事業	4,000,000		町が実施する、山間部溪流沿い等の倒木や流木の除去	実施中
2	生活環境林整備事業	4,000,000		町が実施する、公共施設や通学路沿い等の危険木の伐採	実施中
2	水道水源林町有林化事業	3,643,000	18,025,765	町が実施する、水道水源林の町有化	実施中
大紀町計		11,643,000	18,025,765		

【南伊勢町】

対策区分	市町事業名	当年度交付額 (円)	基金活用額 (円)	事業内容	進捗状況
2	危険木除去事業	7,043,000		町が実施する、公共施設周辺等の危険木除去	実施中
3	森林環境教育事業	944,000		町が実施する、小中学校における森林教育	未着手
4	保育園木製備品購入事業	3,854,000		町が実施する、保育園への木製備品の導入	実施中
南伊勢町計		11,841,000	0		

【名張市】

対策区分	市町事業名	当年度交付額 (円)	基金活用額 (円)	事業内容	進捗状況
2	危険木伐採事業	6,093,000		市が実施する、公共施設周辺及び通学路等の危険木の伐採	実施中
2	未利用間伐材バイオマス利用推進事業	600,000		森林所有者等が実施する、未利用間伐材の搬出に対する支援	実施中
2	人家裏危険木伐採事業	1,800,000		地域住民等が実施する、人家裏の危険木の伐採に対する支援	実施中
2	災害からライフラインを守る事前伐採事業	1,000,000		市が実施する、倒木被害により電力などのライフラインを寸断する恐れのある樹木の事前伐採	未着手
3	森林環境教育推進事業	100,000		地域協議会が実施する、小学校における森林教育に対する支援	実施中
4	学校林整備事業	900,000		活動団体が実施する、学校林における広場等の整備に対する支援	実施中
4	屋外体育施設における木製ベンチ等設置事業	153,000		市が実施する、屋外体育施設への木製ベンチ等の導入	実施中
5	森林公園等環境活用整備事業	640,000		地域協議会等が実施する、森林公園等の整備に対する支援	実施中
5	桜並木保全管理事業	300,000		活動団体が実施する、桜並木保全活動に対する支援	未着手
名張市計		11,586,000	0		

【伊賀市】

対策区分	市町事業名	当年度交付額 (円)	基金活用額 (円)	事業内容	進捗状況
2	みんなの里山整備活動推進事業	7,571,000		自治会等が実施する、集落周辺の里山や竹林の整備に対する支援	実施中
2	未利用間伐材バイオマス利用推進事業	5,100,000		森林所有者等が実施する、未利用間伐材の搬出に対する支援	実施中
3	木づかい木育推進事業	3,042,000		市が実施する、出生児及び小学5年生を対象とした木製フォトフレームや地域材の手作り箸キットの配布	実施中
3	伊賀の森っこ育成推進事業	3,400,000		実行委員会が実施する、小中学校における森林教育に対する支援	実施中
3	地域の森と緑のつながり支援事業	200,000		自治会等が実施する、森林・林業・環境学習・木工のイベントや学習活動への支援	実施中
3	森のやすらぎ空間整備事業（伊賀の木活用人材育成）	700,000		活動団体等が実施する、地元高校生と協力して行う地域材を活用した木製品開発への支援	実施中
4	幼児教育・保育施設木製遊具整備事業		10,630,741	市が実施する、保育所や幼稚園への木製遊具の導入	実施中
伊賀市計		20,013,000	10,630,741		

【尾鷲市】

対策区分	市町事業名	当年度交付額 (円)	基金活用額 (円)	事業内容	進捗状況
2	人家裏危険木伐採事業	1,044,000		自治会等が実施する、人家裏の危険木伐採に対する支援	実施中
3	尾鷲ヒノキを活用した保育園児等への山育事業	360,660		市が実施する、保育園児等を対象とした苗木の配布、木育教室、植林体験	実施中
4	木とふれあう学校環境づくり事業	166,320		市が実施する、過去に市町交付金事業で導入した机・椅子の維持修繕と森林教育	実施中
4	木とふれあう学校環境づくり事業（尾鷲中学校学習机・椅子整備）	4,628,800		市が実施する、中学校への市産材を活用した机・椅子の導入	実施中
4	木とふれあう学校環境づくり事業（矢浜小学校机・椅子整備）	1,458,542	1,016,458	市が実施する、小学校への市産材を活用した机・椅子の導入	実施中
5	中村山公園整備事業	1,996,500	788,822	市が実施する、森林公園の整備	未着手
5	矢浜公園ほか立木伐採・処分及び森林教育事業	852,178	2,133,222	市が実施する、公園等における危険木伐採と森林教育	実施中
尾鷲市計		10,507,000	3,938,502		

【紀北町】

対策区分	市町事業名	当年度交付額 (円)	基金活用額 (円)	事業内容	進捗状況
1	河川周辺森林立枯木整備事業	1,530,000		町が実施する、河川沿いの枯損木の伐採・搬出	実施中
2	危険木伐採事業	8,744,000		自治会等が実施する、人家裏の危険木の伐採に対する支援	実施中
2	集落周辺森林（里山）整備事業	130,000		活動団体等が実施する、集落周辺等の荒廃した森林の整備や歩道整備に対する支援	実施中
3	森林環境教育活動支援事業	932,000		町や活動団体が実施する、小中学生を対象とした森林教育	完了
4	町内学校等木質化事業		18,658,389	町が実施する、小学校におけるウッドデッキの整備	実施中
紀北町計		11,336,000	18,658,389		

【熊野市】

対策区分	市町事業名	当年度交付額 (円)	基金活用額 (円)	事業内容	進捗状況
2	小・中学校危険木伐採・枝切事業	1,143,000		市が実施する、学校敷地内において倒木のおそれのある危険木の伐採等	実施中
5	森とふれあいの場拠点づくり事業	13,763,000	1,505,062	市が実施する、森や緑と触れ合える公園等の整備	実施中
熊野市計		14,906,000	1,505,062		

【御浜町】

対策区分	市町事業名	当年度交付額 (円)	基金活用額 (円)	事業内容	進捗状況
2	学校危険木伐採事業	627,000		町が実施する、学校敷地内における危険木の伐採等	実施中
2	町道危険木伐採事業	1,000,000		町が実施する、道路沿いの危険木の伐採等	完了
5	森林公園等環境整備事業	5,552,000	876,982	町が実施する、森や緑と触れ合える公園等の整備	実施中
御浜町計		7,179,000	876,982		

【紀宝町】

対策区分	市町事業名	当年度交付額 (円)	基金活用額 (円)	事業内容	進捗状況
2	生活環境林整備事業	6,452,000	4,029,977	町が実施する、公共施設の周辺や生活道路沿いにおける危険木の伐採等	実施中
3	森と緑の環境教育事業	1,000,000		町が実施する、森や緑に関する講演会やワークショップの実施	実施中
4	三重の木ベンチ設置事業		825,000	町が実施する、七里御浜国有林での木製ベンチ設置	実施中
紀宝町計		7,452,000	4,854,977		

みえ森と緑の県民税制度運営事業

令和 5 年 12 月

1. 事業の目的

この事業は、みえ森と緑の県民税の制度が円滑に運営されるよう、県民への周知や評価委員会の設置・運営等を行うものです。

2. 令和 5 年度事業進捗状況

1) みえ森と緑の県民税評価委員会の運営

令和 5 年 4 月に第 1 回評価委員会、7 月に第 2 回評価委員会、8 月に第 3 回評価委員会を開催し、令和 5 年 8 月 29 日付けで、森緑評第 18 号によりみえ森と緑の県民税条例の施行の状況についての検討、森緑評第 19 号により令和 4 年度みえ森と緑の県民税基金事業の実施後の評価について、答申を受けました。

1-1) 委員の任命

令和 4 年 10 月 1 日から令和 6 年 9 月 30 日の 2 年間を任期として、次の 10 名を委員に任命しました。

みえ森と緑の県民税評価委員会委員

委員氏名	所属団体等	分野
池山 敦	皇學館大学教育開発センター 准教授	学識経験者
石川 知明	三重大学大学院生物資源学研究科 教授	学識経験者
井野 和正	三重県商工会連合会事務局次長	商工
木村 京子	三重県環境学習情報センター長	環境学習
谷川 東子	名古屋大学大学院生命農学研究科 准教授	学識経験者
橋本 直行	三重県生活協同組合連合会事務局長	消費者
林 拙郎	三重大学名誉教授	学識経験者
林 康子	三重県小中学校長会幹事（伊賀市立府中小学校）	教育
三田 泰雅	四日市大学総合政策学部 教授	学識経験者
森下 ゆう子	有限会社森下林業	林業

五十音順・敬称略 令和 5 年 12 月末現在

1 - 2) 評価委員会概要

【令和 5 年度第 1 回みえ森と緑の県民税評価委員会】

- 1 日時 令和 5 年 4 月 11 日 (火) 9 時 30 分から 11 時 00 分
- 2 場所 三重県勤労者福祉会館 6 階 講堂
- 3 出席委員 9 名 (うち、3 名がオンライン参加)
- 4 議題
 - (1) みえ森と緑の県民税評価委員会への諮問について
 - (2) みえ森と緑の県民税条例の施行の状況についての検討
- 5 会議の公開・非公開 公開
- 6 傍聴者 9 名 (うち、9 名がオンライン参加)

【令和 5 年度第 2 回みえ森と緑の県民税評価委員会】

- 1 日時 令和 5 年 7 月 18 日 (火) 13 時 30 分から 16 時 00 分
- 2 場所 三重県勤労者福祉会館 6 階 講堂
- 3 出席委員 9 名 (うち、3 名がオンライン参加)
- 4 議題
 - (1) みえ森と緑の県民税条例の施行の状況についての検討
 - (2) 令和 4 年度みえ森と緑の県民税基金事業の実績
- 5 会議の公開・非公開 公開
- 6 傍聴者 19 名 (うち、12 名がリモート参加)

【令和 5 年度第 3 回みえ森と緑の県民税評価委員会】

- 1 日時 令和 5 年 8 月 29 日 (火) 13 時 30 分から 16 時 20 分
- 2 場所 三重県勤労者福祉会館 6 階 講堂
- 3 出席委員 9 名 (うち、3 名がオンライン参加)
- 4 議題
 - (1) みえ森と緑の県民税条例の施行の状況についての検討
 - (2) 令和 4 年度みえ森と緑の県民税基金事業の評価
- 5 会議の公開・非公開 公開
- 6 傍聴者 16 名 (うち、13 名がオンライン参加)

2) みえ森と緑の県民税の普及啓発

令和 6 年度から、「みえ森と緑の県民税」の第 3 期が開始し、国の「森林環境税」も課税されることから、令和 6 年度下半期を普及啓発の強化期間として位置づけ、さまざまな媒体を活用した取組を展開しています。

2-1) 啓発物品による広報

「みえ森と緑の県民税」について紹介するチラシ及びリーフレットについて、「森林環境譲与税」との棲み分けに関する説明も加えたうえで、分かりやすいものにリニューアルしました。こうした様々な啓発物品を活用して、みえ森と緑の県民税の必要性と活用事例について広く県民に知っていただくための広報活動を行っています。

【普及啓発実績】

時期	内容
4月5日～4月30日	県庁1階県民ホールでのチラシ配架
5月1日～5月31日	県内のイオン(20店舗)でのチラシ配架
6月1日～6月30日	県庁1階県民ホールでのチラシ配架
	県内のイオン(20店舗)でのチラシ配架
6月1日～10月31日	県庁1階県民ホールでのデジタル広告案内
7月1日～7月31日	県庁1階県民ホールでのチラシ配架
8月1日～8月31日	県庁1階県民ホールでのチラシ配架
9月1日～9月30日	県庁1階県民ホールでのチラシ配架
10月1日～10月31日	県内のイオン(20店舗)でのチラシ配架
	県庁1階県民ホールでのチラシ配架
11月1日～11月30日	県庁1階県民ホールでのチラシ配架
12月1日～12月31日	県内のイオン(20店舗)でのポスター掲示
	県庁1階県民ホールでのチラシ配架
1月1日～1月31日	県内のローソン(148店舗)でのチラシ配架
	県庁1階県民ホールでのチラシ配架
2月1日～2月29日	県内のマックスバリュ(11店舗)でのチラシ配架
	県庁1階県民ホールでのチラシ配架

2-2) 事業成果の広報

①みえ森と緑の県民税令和4年度成果発表会の開催

事業実施担当者が、事業成果を直接県民に報告するとともに、市町間の情報共有を図り、市町交付金事業実施の一助とするため、事業成果発表会をオンラインで開催しました。

- 1 日時 令和5年10月31日(火)13時30分から16時30分
- 2 場所 Zoomによるオンライン開催

- 3 発表内容 県事業 4 事業と 5 市町の事業成果発表
- 4 参加者数 91 人（評価委員、県職員、市町職員、関係団体、一般）
- 5 アンケート結果

Q.この発表会は、満足のものでしたか。

- 1.満足 4 件（13%） 2.概ね満足 18 件（60%）
- 3.あまり満足でない 7 件（23%） 4.満足でない 1 件（3%）

Q.自由意見等

- ・他地域の事業内容が共有でき、私たちの地域でも活用できそうだと感じた。
- ・市町交付金事業については「優良事例発表会」が望ましい。

②みえ森と緑の県民税令和 3 年度事業成果報告書の作成

令和 4 年度事業成果を総括し、詳細に報告するため、みえ森と緑の県民税令和 4 年度事業成果報告書を作成・配布しました。

2-3) さまざまな媒体を活用した広報

①FM 三重オリジナル啓発番組放送

番組名：みえ森と緑の探検隊！

放送期間：令和 5 年 7 月 21 日（金）～10 月 13 日（金） 全 13 回

放送枠：毎週金曜 16：30～16：40（10 分番組）

内容：「みえ森と緑の県民税」を活用した事業と関連する施設や人々を取材して放送し、税を活用した取組や成果を PR

番組ホームページを制作し、放送回を 2 月末まで聴取可能



番組ホームページ

放送日	取材者	内容
7月21日	みどり共生推進課 技師 上村 岳斗	みえ森と緑の県民税とは？
7月28日	津市農林水産部林業振興室 清水 宏幸さん	親子で学ぶ森と緑（夏休み 森と緑の親子塾）
8月4日	朝日町役場産業建設課 吉 田 壮汰さん	PEEK-A-BAMBOO！あさひ 竹プロジェクト！
8月11日	みえ森づくりサポートセン ター 北野センター長	森のせんせいってどんな 人？
8月18日	尾鷲市役所 水産農林課 市 有林係 岩屋 仁志さん	教えて！尾鷲市の県民税事 情！
8月25日	中部電力パワーグリッド 配電建設グループ 佐野 真 也さん	電線近くにある木の整備事 業
9月1日	三重県民の森 川瀬 裕之所 長	教えて！三重県民の森の楽 しいイベント！
9月8日	伊勢市役所 農林水産課 竹内 来聖さん ふたみ保育園 中島 純子園 長	教えて！伊勢市の県民税事 情！（県産材を使用した保 育物品導入による森林教 育・木育）
9月15日	御浜小学校 矢賀 睦都恵校 長	森林公園における小学校の 森林教育！
9月22日	県立伊賀白鳳高校 工芸部 顧問 平野 太一さん 工芸部の生徒	高校生が取り組む『森のや すらぎ整備事業』！
9月29日	四日市メリノール学園（一般 社団法人ネクストステップ 研究会 代表 寺田 卓二さ ん）	学校周辺の里山保全
10月6日	松阪飯南森林組合 石川智 章さん	災害緩衝林整備について
10月13日	森林・林業経営課 主任 中 西 将大 アカデミー運営課 副参事 兼課長 北出 満	「みえ森と緑の県民税」と 「森林環境譲与税」の使い 分けについて

②中日新聞記事広告

掲載日：令和 5 年 10 月 14 日（土）

紙面体裁：カラー15 段（記事 8 段 + 広告 7 段）

紙面内容：「みえ森と緑の県民税」の概要や取組の紹介
「森林環境譲与税」との棲み分け

③Tver での CM 配信（15 秒）

配信期間：令和 5 年 7 月 21 日～ 8 月 20 日

配信内容：「みえ森と緑の県民税の PR 動画（令和 3 年度作成）」を配信

表示回数：177,869 回 完全視聴数：170,109 回（完全視聴率 96%）

④アウトドアイベントでの情報発信

イベント名：住まいと暮らしの総合フェア 2023

開催日：令和 5 年 10 月 14 日（土）、15 日（日）

場所：四日市ドーム

主催：中日新聞社

来場者数：14 日（土）4,125 名、15 日（日）5,406 名、合計 9,531 名

内容：

●PR ブース出展

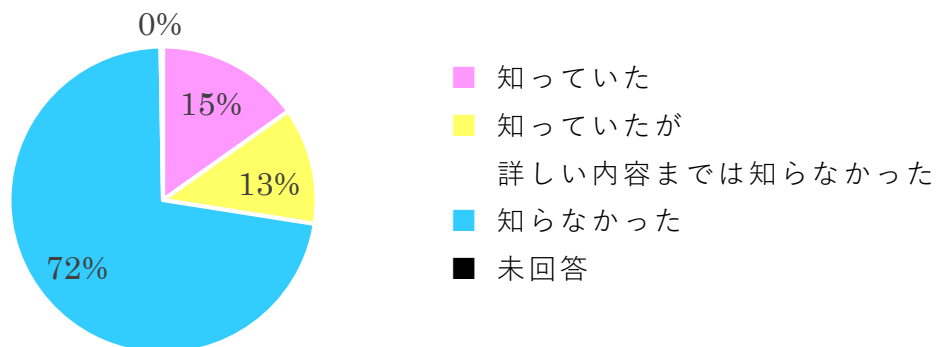
- ・木のボールプール体験、「みえ森と緑の県民税」を紹介するパネル展示、チラシ等の普及啓発物品配布、アンケート調査の実施

●ステージイベント

- ・オリジナル啓発ラジオ番組の連動イベントとして、FM 三重女性パーソナリティによる「みえ森と緑の探検隊トークショー」を実施

アンケート結果：

- ・「みえ森と緑の県民税」の認知度は約 28%（回答数合計 382）



- ・ 自由意見

→知らない税の存在を知ることができ勉強になりました。もりぼー
る、木のぬくもりを感じることができよかった。

→県民に身近で見えるかたちでもっとアピールして下さい。



ステージイベント



ブース出展

⑤ 自然体験施設での情報発信

時期：令和 5 年 7 月下旬から

内容：FM 三重オリジナル啓発番組とコラボしたうち
わを制作し、県内のキャンプ場など自然体験施
設へ配布



⑥ ジオフィールドを活用した情報発信

時期：令和 5 年 7 月 21 日から 1 カ月

内容：位置情報を活用し、キャンプ場などの自然体験施設やアウトド
アショップを訪れた方へ啓発 CM を配信しました。

表示回数：198,657 回 完全視聴数：68,942 回（完全視聴率 34.7%）

⑦ 県政だよりみえでの発信

時期：令和 5 年 12 月号

内容：「みえ森と緑の県民税」と「森林環境譲与税」を有効活用した三
重の森林づくりについて紹介

三重の森林づくりのために、「みえ森と緑の県民税」と「森林環境譲与税」を、それぞれの用途で県・市町が有効に活用しています！

県の面積の3分の2を占める森林は、木材生産だけでなく、水を貯える、地球温暖化を防ぐ、山崩れや洪水を防止するなど、私たちの生活に欠かせない大切な役割を果たしています。

県では、皆さんに納めていただいた「みえ森と緑の県民税」と国から譲与された「森林環境譲与税」を、それぞれ用途や目的を区分して活用し、森林づくりを進めています。

「みえ森と緑の県民税」(県税)とは？

平成26年度から、県が独自に徴収している税金です。税収は、県と市町が、災害発生リスクを軽減するための「災害に強い森林づくり」と、森林づくりを将来に引き継いでいくための「県民全体で森林を支える社会づくり」に活用しています。

「みえ森と緑の県民税」の活用例

森林整備

災害に強い森林づくり

- 溪流沿いの危険木の除去や周辺の森林整備
- 電線などのライフライン周辺や人家裏・通学路沿いの危険木の伐採など



人材育成

森を育む人づくり

- 森林教育の指導者養成や森林教育活動の推進
- 森林づくりボランティアなどの育成など



普及啓発

森と人をつなぐ学びの場づくり

- 森林や木材について学び・ふれあう森林教育を実施するための環境整備など



「森林環境譲与税」(国税)とは？

令和元年度から、全国の市町村と都道府県に国から譲与されている税金です。市町村では、間伐や林業の担い手の確保、木材利用の促進といった「森林整備の促進」などに、都道府県では「市町村の取り組みへの支援」などに活用しています。

「森林環境譲与税」の活用例

森林整備

森林所有者による管理が見込めない(林業経営に適さない)森林の整備

- 森林経営管理制度に基づく森林整備など



人材育成

林業の担い手の確保・育成

- 就業相談会や林業現場におけるインターンシップを通じた林業人材の確保
- 「みえ森林・林業アカデミー」における林業人材の育成など



木材利用

公共建築物の木造・木質化

- 地域材を利用した公共建築物などの木造・木質化、木製品の導入など



■令和6年度から、第3期(5年間)が始まります

みえ森と緑の県民税は、県民税均等割に上乗せする形で、個人の方は年額千円、法人は年額2千円から8万円(県民税均等割額の10%相当額)を納めていただく県税です。



■令和6年度から、「森林環境税」が課税されます

森林環境税は、個人住民税均等割と併せて、個人の方に年額千円を納めていただく国税です。その税収の全額が「森林環境譲与税」として市町村・都道府県へ譲与されるようになります。



「森林環境税」と「森林環境譲与税」の仕組み



問い合わせ先 農林水産部 みどり共生推進課

TEL 059-224-2513 FAX 059-224-2070 E-mail midori@pref.mie.lg.jp

問い合わせ先 農林水産部 森林・林業経営課

TEL 059-224-2564 FAX 059-224-2070 E-mail shinrin@pref.mie.lg.jp

記事

国民、県民一人ひとりが支える、三重の森林づくり

⑧各市町広報誌への折込及び自治会回覧板での情報発信

市町名	周知方法	配布・回覧時期	部数
いなべ市	広報折込	1月	12,900
木曽岬町	広報折込	1月	2,100
東員町	広報折込	2月（予定）	9,850（予定）
多気町	回覧	12月	4,863
大台町	広報折込	1月	4,000
明和町	回覧	12月	777
鳥羽市	広報折込	1月	6,500
志摩市	回覧	12月	2,492
伊賀市	回覧	12月	3,813
紀宝町	広報折込	12月	5,600

⑨CBC テレビ“よしお兄さんの「みえ推し！」”での発信

放送日：令和5年10月18日（水）

放送内容：「県民全体で森林を支える社会づくり」として、みえ森林教育ステーションで、子どもたちが木や緑に触れる木育活動を紹介



[番組ホームページ](#)

2-4) パネル展示等による広報

県施設等において、みえ森と緑の県民税PRのためのパネル展示を行うとともに、アンケート調査をしています。

【パネル展示の実施状況】

所属	期間	場所
四日市農林事務所	R6.1	四日市庁舎 1階ロビー
津農林水産事務所	R6.1	津庁舎 1階ロビー
	R6.2	津市白山庁舎
松阪農林事務所	未定	松阪庁舎 1階ロビー
伊勢農林水産事務所	通年	伊勢庁舎 2階ロビー
	R5.10	伊勢庁舎 1階ロビー
伊賀農林事務所	R5.8.1～R5.8.31 R6.1.15～R6.2.15	伊賀庁舎 2階県民ホール
	R5.10.24	マルタピア（原木市場）
尾鷲農林水産事務所	R5.7.5～R5.8.2	尾鷲庁舎 1階県民ホール
熊野農林事務所	R5.9.9～R5.9.10	熊野市文化交流センター
	R5.9.24	熊野原木市場
林業研究所	R5.11.25	森林・林業アカデミー棟 エントランス
みどり共生推進課	R5.6.19～R5.6.23	本庁 1階県民ホール
	R5.12.1～R5.12.28	県立図書館



本庁県民ホールにおけるパネル展示の様子



県立図書館におけるパネル展示の様子



県尾鷲庁舎におけるパネル展示の様子

2-5) 木材利用の意義や効果等についての情報発信

「木材利用と森林づくりのつながり」に対する理解促進のため、木材利用の意義や木材の効果・効用等を県民に分かりやすく紹介する冊子を県立図書館や三重県「木づかい宣言」事業者の店舗等で配布しました。今後も引き続き広く県民の目に触れる箇所で本冊子を活用し、情報発信を行います。



県立図書館における活用の様子



「木づかい宣言」事業者の店舗における活用の様子

3) 「みえ森と緑の県民税」の認知度

3-1) e-モニター制度の活用

e-モニター制度を活用し、みえ森と緑の県民税にかかるアンケート調査を実施しました。調査結果は、ホームページで公表しています。

【みえ森と緑の県民税に関するアンケート】

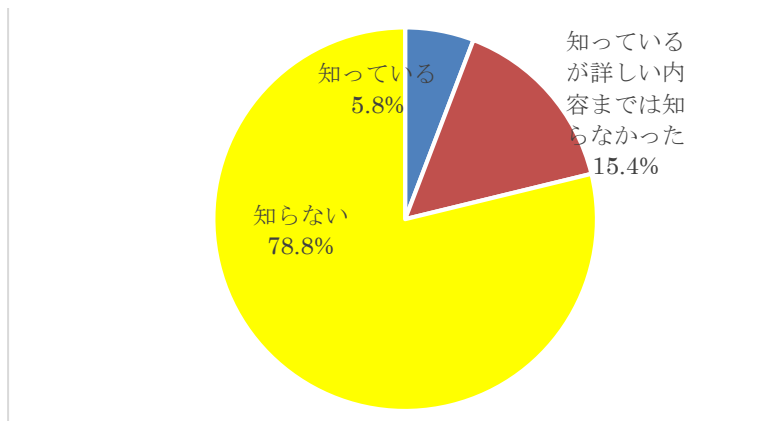
- 1 実施期間 令和 5 年 7 月 26 日から 8 月 1 日まで
- 2 回答数 1,000 名（民間リサーチ会社が抱える県内の顧客）
- 3 設問内容と回答結果

三重県では平成 26 年から「みえ森と緑の県民税」を導入し、個人は年額 1,000 円、法人は資本金額に応じた県民税均等割の 10%相当額（年額 2,000 円～80,000 円）を納めていただいています。

この「みえ森と緑の県民税」を活用して、県が災害緩衝林整備事業等の災害に強い森林づくりに取り組むとともに、市町が人家裏や通学路沿いの暮らしに身近な危険木の伐採、教育現場への木製備品の導入等地域に密着した取組を行っています。

あなたは、「みえ森と緑の県民税」をご存じですか。

「みえ森と緑の県民税」の認知度：全体割合（%）



「みえ森と緑の県民税」の認知度：年代別回答割合

